

平成23年第8回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成23年8月9日（火）

午後1時30分開会

開催日時	平成23年8月9日	開会 午後1時30分 閉会 午後5時12分	
場 所	前原暫定集会施設 A会議室		
出席委員	委員 長 伊藤 恒子 委員長職務 代理者 鮎川志津子 委 員 高木 裕	委 員 宮本 誠 教 育 長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 尾上 明彦 生涯学習部長 天野 建司 庶務課長 鈴木 遵矢 学務課長 前島 賢 指導室長 豊岡 弘敏 指導室長補佐 神田 恭司 指導主事 高橋 良友 指導主事 平田 勇次	生涯学習課長 尾崎 充男 兼文化財係長事務取扱 スポーツ振興 宮腰 誠 担当課長 公民館長 大関 勝広 庶務課長補佐 河田 京子 教科書選定調査 委員長 神田 正美 教科書選定調査 吉田 哲三 副委員長	
調 製	玉井 奈保子		
傍聴者 人 数	51名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 2 0 号	平成 2 4 年度小金井市立中学校使用教科用図書の採択について
第 3	議案第 2 1 号	平成 2 4 年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について
第 4	議案第 2 2 号	小金井市図書館協議会条例の一部を改正する条例の制定依頼について
第 5	報 告 事 項	1 スポーツ祭東京 2 0 1 3 小金井市実行委員会設立 総会及び第 1 回総会の実施報告 2 その他 3 今後の日程
第 6	代 処 第 3 3 号	職員の人事異動に関する代理処理について
第 7	代 処 第 3 4 号	職員の人事異動に関する代理処理について
第 8	代 処 第 3 5 号	非常勤嘱託職員の退職に関する代理処理について
第 9	代 処 第 3 6 号	非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について

伊藤委員長

皆様、こんにちは。

秋になったが、暑い日が続いている。

ただいまから平成23年第8回小金井市教育委員会定例会を開会する。よろしく願います。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、鮎川委員と高木委員にお願い申し上げます。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊藤委員長

次に、日程第2、議案第20号、平成24年度小金井市立中学校使用教科用図書の採択についてを議題とする。

提案理由につき、ご説明をお願いします。

向井教育長

提案理由についてご説明をする。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号の規定に基づき、平成24年度市立中学校使用教科用図書の採択をする必要があるため、本案を提出するものである。

細部については指導室長より説明するので、よろしくご審議の上、採択賜るようお願いを申し上げます。

豊岡指導室長

平成24年度市立中学校使用教科用図書の採択についてであるが、小金井市立学校使用教科用図書採択のための調査研究に関する要綱及び同細目に基づいて、これまで調査研究を進めてまいった。具体的には、まず、各学校において調査研究が行われた。それから、各学校長が推薦した委員で構成される調査研究委員会において調査研究が行われた。さらに、それらをもとに選定調査委員会の正副委員長、調査研究委員会の正副委員長、保護者の代表、教育委員会の事務局等で構成された選定調査委員会で調査研究を行った。

その結果をまとめたものが配付した選定調査資料である。

細部については、以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、選定調査委員長、副委員長に私どもが質問をし、お答

えいただいて、理解を深めてまいりたいと思う。

私どもは、この選定調査資料及び教科書については、もうかなり前にいただき調査研究を進めている。したがって、委員長、副委員長には各教科書ごとの説明については報告書のすべてではなくて、特徴的なことをご説明いただき、選定調査委員会の見解等についてご報告をいただきたいと私は考えているが、いかがか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、選定委員長及び副委員長、願います。  
選定委員長、選定副委員長をご紹介申し上げます。よろしく願います。

神田教科書選           選定委員長の神田である。よろしく願います。  
定調査委員長

吉田教科書           選定副委員長の吉田哲三である。よろしく願います。  
選定調査  
副委員長

伊藤委員長           どうぞよろしく願います。  
まず、国語の説明から願ひ申し上げます。

吉田教科書           国語の説明を私からさせていただく。  
選定調査           まず、東京書籍は、教材や資料は正確で適切である。新しい作品  
副委員長           が多く取り入れられていて、関心を引きやすくしているのが特徴的  
である。構成や配列はともにオーソドックスで落ち着いている。表  
記、表現は適切であり、写真や挿絵が豊富で見やすく配置されてい  
る。

学校図書は、教材の幅が広く、読みごたえのある作品が多く見られる。新しい教材も多く、関心を引きやすくしている。単元の構成は習得、活用、探求といった構成になっている。資料はわかりやすく工夫されている。教科書の大きさがB5判というのが大きな特徴である。

三省堂は、教材は現代的な課題を扱った読み物が多く、関心を引

きやすい工夫が見られる。話す、聞くなど、表現分野の教材が充実している。また、資料編が別冊になっているのが大きな特徴である。写真や挿絵が適切に配置されている。巻末の漢字一覧に筆順がついている。

教育出版は、適切な教材が多く、資料が豊富で充実している。構成が指導順ではなく領域別になっている。図や写真が適切に配置されている。漢字の学習は直接教科書に書き込めるようになっている。また、学習記録シートが巻頭に折り込み式になっている。

光村図書は、適切な材料選びがされていて、内容は充実している。内容の構成も発達段階に応じたものになっている。文字の大きさや行間が適切で読みやすいと思われる。巻末に新出漢字とその筆順があり、書き込み式になっているので、練習しやすい工夫が見られる。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。  
補足はないか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

はい。

伊藤委員長

それでは、質問のある方、どうぞお願い申し上げます。

鮎川委員長  
職務代理者

中学校では、来年度から新学習指導要領が完全実施される。国語科では新しく、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が設けられた。新しい教科書をごらんになって、選定調査委員会のご見解をお知らせいただけるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

教科書では、これまでの、1つは話すこと・聞くこと、2つ目は書くこと、3つ目に読むことについては、今までどおりの指導の根幹としては変更がない。新たに伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、我が国の言語文化を享受し、継承、発展させる態度を育てることや、国語が果たす役割、特質についてまとめた知識を身につけられるようにできていることを意識している。

また、実際の言語活動においても、これらの力が有機的に働くよ

うに、能力を育てることができるように構成していることが挙げられている。

鮎川委員長  
職務代理者

わかった。ありがとう。

伊藤委員長

ほかにあるか。

高木委員

新学習指導要領で、国語科が言語力育成の中核の科目ということで、批評、評論、論説等の言語活動を充実させるということになっているが、各教科書、そういう活動が載っていると思うが、選定委員会のほうではどのような特徴があると思われるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

教科書の中では、多様な言語活動につながる教材が扱われていると思う。条件に合わせて、スピーチや討論、プレゼンテーション、意見文や鑑賞文、物語の創作、批評文等の作成等が取り上げられている。

東京書籍や学校図書、それから教育出版、光村図書は、話すこと・聞くこと、それに書くことの言語活動を多く設けて、生徒の学習機会を充実させていこうというところが見える。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにはないか。

宮本委員

お聞きしたいと思うが、学習で学んだ言語活動というものが生徒の日常生活に生かされることが重要ではないかと考えているが、選定委員会では教科書の効果的な工夫についてはどのようにとらえられていたのか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

各会社の教科書で、言語活動を充実させる工夫は全体的になされている。

教育出版、光村図書の教科書では、生活に関連した教材を配置して、言語活動が生徒の日常生活や社会生活に生きる工夫がされている。

宮本委員            ありがとうございます。

伊藤委員長         ほかにはないか。

鮎川委員長  
職務代理者         新学習指導要領で示された伝統的な言語文化の教科書での扱いや特徴について、選定調査委員会ではどの点に注目なされたか教えていただけるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長            まず、古典についての扱いが挙げられている。古典については、小学校段階から易しい古典の文章を読むようになることを受けて、中学校の教科書では、小、中、高校の系統性が意識されていると思う。この古典及び古典の知識にかかわる項目については、東京書籍、学校図書の教科書が多く設けられ、生徒が古典に対する知識を深めようとするようにされている配慮、特徴が見られる。

鮎川委員長  
職務代理者         わかった。ありがとう。

伊藤委員長         ほかにはどうか。

宮本委員            新学習指導要領では、読むこととして、目的や意図に応じて読む能力を育成するということが示されていると思うが、この選定委員会では、読むことの扱いについて、どの部分に注目をされたのか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長            読む能力と、教科書で扱われている教材に注目してみた。具体的に、語句の意味の理解や文章の解釈、自分の考えの形成、読書と情報活用、このような力を育てるための教材が形成されていた。読むことで扱われる文学的な文章や説明的な文章では、学校図書、光村図書が多くの作品を扱っている。要約や要旨、描写や場面、登場人物の設定等について読み取るなど、語句の意味理解や文章の解釈についての指導が充実していると思った。

さらに、自分の考えの形成や、読書と情報活用については、教科書会社で取り上げている文学的な文章、説明的な文章、詩歌、古典等、取り扱う作品について調査をした。その結果、どの会社も教材の内容に関しては充実していた。そして、学校図書、光村図書がさ

まざまな作品を掲載していて、どの生徒にも文章をもとに自分の考えを構築することや、読書や知識を広げる満足感を得ることができるようにしてあった。

宮本委員            ありがとうございます。

伊藤委員長            詳しい説明ありがとうございます。  
ほかにあるか。

高木委員            各教科書で、読書活動に対する扱いがそれぞれ違うと思うが、その辺はどのようにお考えか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長            各教科書は、読書に関しての項目というのは挙げていて、例えば読書の案内や本の検索方法など、読書活動につながるような工夫をしている。

三省堂とか光村図書は、このような読書に関係する内容を多く扱っていた。子供が読書に触れられるきっかけを多く提供しているということが感じられた。

伊藤委員長            ほかにご意見、ご質問はよろしいか。  
ありがとうございます。  
それでは、これより協議に入る。ご自由にご発言をお願いします。

宮本委員            教科書を拝見して、学校図書、光村図書というのは読むことに関する教材数が多くてよかったと思った。また、学年ごとに現代を代表する作家の、大変読みごたえのある作品が掲載されていると感じた。

それから、東京書籍は、新しい作品が多く取り入れられており、関心を引きやすく調査資料の上にも記載があったと思っている。  
以上である。

伊藤委員長            ありがとうございます。  
ほかにはいかがか。

高木委員            小金井の生徒は、読書への関心、大変高いと思うが、光村図書に

は、確か「本との出会い」だったと思うが、読書案内リストがとても参考になるなと思った。生徒の学習意欲を高めるという意味で大変いいのではないかと思う。

伊藤委員長           私も光村を見させていただいて、読書の案内が大変興味深く、本を4冊も買ってしまって、読んだ。できれば中学校時代にこのお話を読みたかったなと私は思った。とてもいい案内である。  
ほかにないか。

鮎川委員長  
職務代理者           どちらの教科書も読んでいて引きつけられる教材がたくさんあったと思う。見た目だけでも厚さ、大きさなどさまざまである。私も教科書を読むだけで何時間もかかってしまったが、大変すばらしいものばかりだと思う。

その中でも特に、光村図書は言語活動の充実に向けて、実際に使える学習の教材が用意されていると感じた。先ほど吉田副委員長からも、生活に関連した教材を配置しているというご説明もあったが、確かに学習したことを日常に生かす工夫がされているので、光村がいいと思った。

伊藤委員長           光村がいいということか。

鮎川委員長  
職務代理者           そう感じた。

伊藤委員長           ほかにはいかがか。

高木委員           教育出版の教科書も、日常に生かす工夫というのがされているかなと思う、先ほど副委員長の報告にもあったが。学習の手引『道標』、いわゆるワークショップ型の、対話型の、あるいは人とのコミュニケーションを体験するような取り扱いになっているかなと思う。

伊藤委員長           教育出版がよいということか。

高木委員           はい。

- 伊藤委員長           ほかにはあるか。
- 鮎川委員長  
職務代理者           単元数で見たときに、話すこと・聞くことを扱う言語活動の  
主な単元数は、やはり光村図書が一番多かったと思う。
- 伊藤委員長           話すこと・聞くことは光村が多いということか。
- 鮎川委員長  
職務代理者           扱っている単元数が一番多かった。
- 伊藤委員長           ほかはいかがか。
- 高木委員           話すこと・聞くこと、それから書くことに対する教材について、  
これは先ほどもあったが、生徒の発達段階を考えた構成になっている  
というところで光村図書がよいのではないかなと思う。
- 伊藤委員長           発達段階をとらえている。  
ほかにはあるか。もうご意見ないか。  
そうすると、皆さんの出されたご意見からすると、国語では光村  
図書が多いと思うが、国語の教科書は光村でよいか。
- (委員一同異議なしの声)
- 伊藤委員長           それでは、国語の教科書は光村図書と決定する。  
次に、国語、書写についてご説明をお願いします。
- 吉田教科書  
選定調査  
副委員長           それでは、引き続き私から説明をする。書写は6社ある。  
東京書籍は、教材は実生活に即していて適切である。系統立てた  
構成で、内容も発達段階に応じて適切である。見開きで見やすく、  
視覚的に訴えるレイアウトで、写真やイラストが工夫されている。  
筆遣いなどの説明もわかりやすくなっている。  
大日本図書は、教材の分量、内容ともに適切である。実生活に結  
びついた適切な教材が多く見られる。コラムや写真の資料が効果的  
に配置されている。毛筆と硬筆が見開きに配置されている。硬筆の  
練習が直接書き込めるので便利であると思われる。

学校図書は、実生活に結びつく教材が多く、関心を引きやすくなっている。筆遣いの説明はわかりやすくなっている。表記、表現は適切で、挿絵や写真は見やすく具体的である。3学年分が1冊にまとまっているので扱いやすいと思われる。

三省堂は、硬筆から毛筆への構成は指導しやすくなっている。基礎基本の教材が充実していて適切である。挿絵にキャラクターを用いて、親しみやすい工夫がされている。硬筆の練習ページが入っていて、使いやすい工夫が見られる。

教育出版は、筆遣いや筆運びの手本が多く、レイアウトは見やすいと思われる。硬筆から毛筆への構成や教材の配列は発達段階に即している。筆遣いの運筆の手本が多く、レイアウトもすっきりしているので筆遣いの説明がわかりやすくなっている。

光村図書は、手本の文字が美しく、筆遣いがわかりやすく説明されている。実生活に即した教材が多く、無理のない構成になっている。国語学習との関連が図られ学習しやすと思われる。カラーページが効果的で、イラストや吹き出しが多く見られる。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

ご質問ある方、願います。

高木委員

文字を正しく整えて書くためには、硬筆も毛筆も習い始めが肝心だと思うが、その辺について各教科書取り上げているが、どのようにお考えか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

各教科書では、小学校での復習を踏まえた形で、硬筆では姿勢や執筆法の確認をし、毛筆では筆圧、穂先の動きなど、基本的な筆遣いや用具の持ち方、使い方について掲載されている。

選定委員会では、習い始めの学習に注目した。そこで、筆遣いや点画の説明などについて、東京書籍、教育出版、光村図書が丁寧にわかりやすいという意見が多くあった。

以上である。

伊藤委員長

ほかにはあるか。

宮本委員 書写で、中学では楷書から入るわけであるが、何といたっても行書の指導というのが一番重要な指導内容になるのではないかと思うが、各教科書ではいかがか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 各教科書で楷書の学習内容を経て行書の学習に焦点が移っていくが、そこは変わらない。基本的な書き方の内容としては硬筆や毛筆を計画的に行うなど、工夫がされていると思う。それから、点画の連続や変化などについては大日本図書、光村図書が多く取り上げている。それから、行書の基本的な書き方の指導ができるようになっている。

宮本委員 ありがとう。

伊藤委員長 ほかはいかがか。

鮎川委員長  
職務代理者 書写で難しいところは、字の形を整えたり、文字のバランスをうまく配列したりすることが挙げられると思う。私も書写が苦手なので、そのあたり難しいと感じるところだが、このことについて各教科書での取り扱いに違いが見られるが、選定調査委員会としてはいかがお考えか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 教科書によって、例えば、文字が異なっていて、扱う項目もこだわっているが、東京書籍や大日本図書は毛筆、硬筆ともにバランスよく教材としては扱っていると思っている。それから、生徒が字形や文字の配列などについて意識的に学習する機会が多くなると、委員会では考えている。

鮎川委員長  
職務代理者 ありがとう。

伊藤委員長 今おっしゃった、多いのは東書と大日本ということによろしいか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 そのとおり。

伊藤委員長           ほかにはあるか。いいか。  
それでは、これより協議に入る。どうぞご意見を願います。

高木委員            書写の場合は、手本の字の大きさというのも単純に大事だと思う  
が、私、他社と比較して大日本図書は手本の字が小さいんではない  
かと思う。

伊藤委員長           調査資料にもそのようにあった。少し小さいということで、バラ  
ンス等はよいということだったが、大きさではということか。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者          私は、東京書籍と教育出版が筆遣いの説明がとても丁寧で生徒に  
わかりやすいと感じた。実際、私、東京書籍の教科書を見ながら筆  
を運ばせてみたが、順を追った手順の、払いなどについても大変丁  
寧に書かれていて、そのとおりに書くとそれなりの字になったので、  
大変わかりやすいと思う。

伊藤委員長           実践をなさったということか。

鮎川委員長  
職務代理者          はい。

伊藤委員長           わかった。  
ほかにご意見あるか。

宮本委員            1冊だけの教科書というのが、学校図書と光村図書にあるわけだ  
が、そうすると、1年生から3年生まで、全体の流れというのがわ  
かりやすいのではないかという感じを持った。

伊藤委員長           見渡せるということか。

宮本委員            はい。

伊藤委員長           ほかにご意見あるか。

鮎川委員長  
職務代理者           あと、東京書籍は、視覚的に見て興味を誘う工夫がされているので、それもよい点だと感じている。

伊藤委員長            どんなところにそのような視覚的工夫があるのか。

鮎川委員長  
職務代理者            教科書の内容自体も大変見やすくきれいであったのと、少し子供っぽいかもしれないが、ページをめくると、文字の成り立ち、漢字から平仮名ができた様子が視覚的に確認できる工夫がある。

伊藤委員長            それは東書か。

鮎川委員長  
職務代理者            東書である。

伊藤委員長            ちょっと東書の教科書を見せてもらえるか。

鮎川委員長  
職務代理者            口で説明しにくい、「波」が「は」になる様子が分かりやすく工夫されている。

伊藤委員長            字の変化していく様子である。

鮎川委員長  
職務代理者            子供っぽいといえども子供っぽいのかかもしれないが、漢字から平仮名ができる様子が行書などへの関心につながっていくとよいかなと思った。

伊藤委員長            授業中、遊ばないようにしないといけない。

鮎川委員長  
職務代理者            そちらも問題である。

伊藤委員長            でも、非常に視覚的に子供たちが楽しく教科書が使えるのではないかとということか。

鮎川委員長            はい。

職務代理者

伊藤委員長           ほかにはあるか。

宮本委員           私も教科書を見て、東京書籍はページの最後のところに、帯状に、小さくではあるが、学習を振り返ってという自己評価欄がいろいろなところについている。子供が学びを確実に確認できる、そういう工夫がされているのではないかと感じた。

伊藤委員長           東京書籍はという話が出ているが、私も先ほど鮎川委員がおっしゃったバランスとか、整えるとかいうことで少し感じたことがある。書写をするときには3つの「セイ」が大事だと私は教えてもらった。「セイ」というのは、正しい「正」、それから整えるの「整」、最後は勢いの「勢」、その「正」、「整」、「勢」の3つの「セイ」が大事だと聞いたが、先ほどもお話があったように、正しく書くとか、整えるということは比較的どの教科書でも扱っているが、最後の勢いの「勢」ということについてあまり扱いがなく、教えるときにも非常に難しいんじゃないかなと思っているが、東書の22ページ、23ページには、楷書と行書でどれぐらいの時間の違いがあるとか、角はぴつととめてすーっといくとか、勢いにかかわることが書かれていたのは、この教科書、私がざっと見た限りでは、細かい配慮があるなというふうに、同じ字を書くのにも、同じ調子で書いたのではなかなか3つの「セイ」は整いにくいということからは、細かい配慮があるなという感想を持たせていただいた。

ほかにご意見あるか。いいか。

では、皆様のご意見から東書ということにまとめさせていただいてよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、書写の教科書は東京書籍と決定する。  
次は、社会（地理的分野）についてご説明をお願い申し上げます。

神田教科書選  
定調査委員長       地理的分野については、私、神田が説明する。4社ある。  
まず、東京書籍であるが、教える内容が増えた分を、教科書の大

きさを変えることで解決しているというのがこの教科書の特徴である。横幅が広がっている。扱う教材内容は適切である。巻末に、統計資料、用語解説が掲載されているのは使い勝手がよいと思われる。表記、表現は中学生にわかりやすく工夫されている。写真や挿絵は見やすく配置されている。

次に、教育出版であるが、教材内容が適切に選択されている。本文だけでなく、発展コラムで取り上げている教材も適切である。発達段階に応じた内容と分量になっている。巻末の用語解説、統計資料は使い勝手がよいと思われる。写真、地図、挿絵は見やすく、文章の中身の理解を助けるよう配慮されていた。学習のまとめと表現という項目が生徒の理解を深める工夫であると思われる。

次に、帝国書院は、資料を含め、適切な内容を取り扱っている。節や章の終わりに設けられた「よりよい社会に向けて」、「日本の底力（地域の底力）」などは生徒の興味を引く工夫が感じられる。写真、地図、挿絵は見やすく配置されている。ワーク形式になっているところは生徒の自主的な活動に配慮している。

最後に、日本文教出版は、適切な教材が扱われている。文章は平易で中学生向きに配慮されている。巻末の統計資料は使い勝手がよいと思われる。「学習の活用」という項目は、アジア州やヨーロッパ州などを概観するページになっているので、理解を助ける工夫が見られる。この教科書は、資料については大阪を扱ったものが多いという特徴があった。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、ご質問、お願いします。

鮎川委員長  
職務代理者

社会科の教科書で新学習指導要領のポイントは、学んだ知識や技能を活用する力の育成や言語活動の充実だと言われている。各教科書ではこれらの点はどのように反映されているのか。

神田教科書選  
定調査委員長

言語活動、それから活用能力については新学習指導要領で特に求めているところである。どの教科書でもこれらの力を育成するために工夫が凝らされているが、特に地理的な分野では統計グラフだとか、資料だとか、図をもとに考える、研究する、説明する、伝え合

う、あるいは要約するといった言語活動が取り入れられている。特に帝国書院では、資料活用の技能習得や課題を深く追究するという項目が充実している。活用する力を育成するという授業が展開しやすいのではないかという意見が出された。

鮎川委員長  
職務代理者

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにはいかがか。

宮本委員

今回の新学習指導要領に示された世界のさまざまな地域というのと、日本のさまざまな地域、この2つの大項目について選定調査委員会のご意見をお聞きしたいと思う。まず、教科書に掲載された世界のさまざまな地域の扱いについてはどうか。

神田教科書選  
定調査委員長

世界のさまざまな地域については、課題を決定する、調査する、まとめる、発表するという学習過程を提示している。

それから、教科書が扱う世界のさまざまな地域についての内容に関するページでは、教育出版、帝国書院、日本文教出版が多く取り扱っていた。

宮本委員

ありがとう。

続けて、日本のさまざまな地域についてはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長

日本のさまざまな地域については、日本の地域構成、世界と比べた日本の地域的な特色、日本の諸地域、身近な地域の調査の4つで構成されている。教科書が扱う日本のさまざまな地域についての内容ごとのページを見ると、教育出版、帝国書院、日本文教出版が多く取り扱っていた。

宮本委員

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにはいかがか。

高木委員

各教科書では地域的な特色、あるいは領域、そういった我が国の

国土に関する事項が載っていると思うが、その辺についてはどのようにお考えか。

神田教科書選定調査委員長 国土については、指導要領の中で、我が国の海洋国家としての特色を取り上げろと指示されている。どの教科書も海洋国家としての特色を取り上げている。我が国の領域に関する点は、北方領土、竹島について掲載されている。この領域を巡る問題の扱いの部分については、東京書籍、日本文教出版がコラムや地図、写真などを使って多く扱っていた。

伊藤委員長 ほかにあるか。

高木委員 学習指導要領では、地理的技能の育成の重視とあるが、この技能の育成については選定調査委員会ではどのようにお考えか。

神田教科書選定調査委員長 地理的技能の育成については、身近な地域の調査の部分で、特に資料の活用などが該当すると思うが、この技能については、地図の読み取り、地形などから社会生活について考えることが大事だと思う。どの教科書もこの点に配慮して、例えば図や資料を上手に配置するだとか、見やすくするだとか、あるいは提示する資料の要点を絞るだとかいうことについては配慮されて、それぞれの会社の工夫が見られた。

伊藤委員長 それぞれ工夫されているということか。

神田教科書選定調査委員長 はい。

伊藤委員長 特に特徴的なことはなかったと。

神田教科書選定調査委員長 それぞれどこもよくできているなという感じはした。

伊藤委員長 わかった。  
ほかにご質問あるか。

それでは、協議に入りたいと思う。ご意見をどうぞ。

鮎川委員長  
職務代理者 日本地理では、通常、南の九州地方から始まるのが一般的と思うが、日本文教出版だけは北の北海道から配置されているようである。私個人的にはもちろんどちらから始めても構わないと思うが、大きな違いがあったので、まず一つ感想を述べた。

次に、意見であるが、東京書籍は、地図スキルアップや、地理にアクセスなどというコーナーが設けられて、生徒が資料を読みやすくする工夫がされていてよいと感じた。

伊藤委員長 ほかに。

高木委員 教育出版も、「読み解こう」とか、「トライ！」などを設けて、生徒の課題が考えやすく、そういう工夫がされているかなと思う。

伊藤委員長 とらえやすいということか。

高木委員 そうである。

伊藤委員長 わかった。  
ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者 先ほど東京書籍の工夫についてよいなと申し上げたが、帝国書院も、神田委員長から資料活用の技能習得や課題を深く追究する項目が充実しているというお話があって、確かに私も拝見してそのとおりと感じた。あと、もう一つ、帝国書院の中の身近な地域調査では、東京都の八王子市が取り上げられているので、私たち小金井市の市民にとっても、もちろん生徒にとっても、八王子市は大変近い多摩地域であるので、身近に感じながら学習することができるので、帝国書院もよいと思う。

伊藤委員長 ちなみに、東書は静岡、日文が小牧、教出が名古屋を扱っている。帝国だけが身近であるというお話か。

鮎川委員長 そうである。

職務代理者

伊藤委員長       ほかにはあるか。

高木委員       選定調査委員会の資料を見ると、統計等の資料が帝国書院が一番新しいものになっているということで、やはりいいのではないかなと思う。

伊藤委員長       新しい社会を知る上でということである。  
ほかにはあるか。

宮本委員       その帝国書院であるが、世界のさまざまな地域、それから日本のさまざまな地域の両方の学習において説明する項目について、特に無理のないようバランスよく取り上げられていると思う。また、言語活動の充実も図っていてよろしいのではないかと考えた。

伊藤委員長       ほかにご意見あるか。いいか。  
皆さんのご意見は出尽くしたようであるが、帝国書院というお声が多かったように思うが、社会の地理的分野は帝国書院でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長       それでは、社会（地理的分野）の教科書は帝国書院と決定する。  
次に、社会（歴史的分野）に移る。用意ができたらご説明をお願いします。

神田教科書選  
定調査委員長       引き続き私が説明する。  
まず、東京書籍であるが、教科書の大きさに特徴がある。先ほどの地理と同じである。横に大きくなっているので、資料、グラフなどが見やすくなっている。時代の特色をとらえる学習として、章のまとめの部分で課題追究的な学習を取り入れ、生徒の考察する力や説明する力を育てる配慮がされている。表の見返しに日本の世界遺産、国宝の写真をまとめ、我が国の伝統や文化の学習の重視に配慮している。

続いて、教育出版は、時代をとらえる学習として、章のまとめに各時代のキーワードを使った表現力を高める工夫が取り入れられている。また、「歴史の窓」「トライ!」「読み解こう」という枠を組み、歴史に対する興味を高め、理解を深める工夫が凝らされている。小学校で学んだ人物と新たに学ぶ人物の違いをわかりやすくしている。国宝や重要文化財の写真にはマークをつけ、文化財の理解を深めるようにしている。

続いて、清水書院は、「深める歴史」という特設コーナーが特徴的である。各時代の発展的内容を取り上げ、生徒の関心を高める課題追究学習になっている。單元ごとに「まとめてみよう」という枠を設け、表現力を高める工夫がされている。読みやすい字の大きさと表記で見やすくなっている。また、ページによりレイアウトがさまざま、他社のように統一したレイアウトを採用していない点に特徴があった。

次に、帝国書院は、各時代の特徴をとらえる学習として、「考えてみよう」「説明してみよう」という枠で思考、判断、表現の能力を伸ばそうという配慮がされている。また、「歴史の舞台」という枠では、日本の各地域の人々の生活や事件を取り上げ、歴史に対する深い考察ができるようになっている。全体のレイアウトはすっきりしていて、挿絵、写真は見やすく、表記、表現はわかりやすいと考える。

続いて、日本文教出版は、單元ごとに課題学習を確かめようというテーマ設定で課題追究学習を取り入れている。また、時代ごとにテーマをつくり、思考、判断、表現の能力を高める工夫が取り入れられている。「とらえよう！時代の転換」という見開きページでは、表現活動を促している。全体を通じて読みやすい字体で、写真も大きく、豊富に取り入れてあり、見やすくなっている。

続いて、自由社は、時代の特色をとらえる学習として、章のまとめに年表を活用した語句のまとめを設け、80字から100字でまとめてみましょう、という作業がある。書かれている内容は日本史を多く、世界史を少なくという特徴がある。近現代史における中国との関係に関する資料を多く掲載している。1年生から学習する歴史であるが、内容や記述に、やや高度であるという意見があった。

次に、育鵬社は、時代の特色をとらえる学習として、章のまとめに作業が提示され、知識、理解を深める工夫がされている。章ごと

に歴史豆辞典という枠もある。読み物コラム、人物コラムというページがところどころに挟み込まれ、学習を深めるようにしてあり、個人の業績についてより深く知ることができる。他社に比べ、日本史が多く世界史が少なくなっている特徴がある。

以上である。

伊藤委員長            ありがとうございます。  
それでは、ご質問、お願いします。

宮本委員              歴史であるが、我が国の歴史についての認識は多面的なとらえ方があると思うが、古代から現代までを学習するに当たって、教科書で中学生が学習しやすい工夫というのは何か見られたのか。

神田教科書選        学習しやすい工夫であるが、教科書ではその時代の社会的背景だ  
定調査委員長        とか、国際的な社会情勢、関連性を持たせながら学習するという工夫が見られる。例えば、聖徳太子の政治と大化の改新の扱いでは、太子と蘇我氏の関係、天皇中心の国家づくりについて教科書ごとで社会的背景や国際的な関係、情勢などを押さえて、それとの関連性の中で学習課題を考えるということが工夫されていた。

伊藤委員長            点とか線ではなく面でということか。

神田教科書選        はい。  
定調査委員長

伊藤委員長            わかった。  
ほかにはないか。

鮎川委員長            教科書には歴史上の人物と主な業績が掲載されていると思う。教  
職務代理者        科書会社によって、その載せ方について特徴的なことはあるか。

神田教科書選        人物の扱いであるが、歴史的な分野では、人物や文化遺産を取り  
定調査委員長        上げて、それを調べたり考えたりすることで、時代の特色をとらえ  
させるということになっている。教科書によっては取り上げる人物  
がさまざまであるが、学習指導要領に基づいて、それぞれ各教科書

が独自に取り上げている。古代から現代までで人物の取り上げの箇所を見てみると、東京書籍と育鵬社と自由社、この3社がたくさん人物を取り上げているという特徴があった。

鮎川委員長  
職務代理者            ありがとう。

伊藤委員長            ほかに。

高木委員            学習指導要領では、我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てるとあるが、各教科書では伝統文化を学習する上で、今の中学生にわかりやすく伝え、興味を持って学習ができるような工夫はどのようにになっているか。

神田教科書選  
定調査委員長        文化と伝統に対する興味の持たせ方であるが、日本の文化遺産だとか国際関係、文化交流を題材として取り上げ、興味を引くように工夫してあると思う。それから、その紹介をするために写真や図を適宜用いて生徒の関心を高めようとしていた。この部分に関しては東京書籍、帝国書院、育鵬社、これが古代から現代まで多く扱っていた。

伊藤委員長            ほかにあるか。質問はいいか。  
では、協議に入る。どうぞ。

宮本委員            日本文教出版の教科書は、図や写真が充実していると思った。それから、清水書院は、深める歴史として時代ごとに資料や絵画、グラフなどで作業的、体験的な学習活動を設けるなど、工夫していると考えた。

伊藤委員長            ほかにご意見、いかがか。

高木委員            東京書籍であるが、私たちの歴史探検隊ということで、福岡とか名古屋、横浜、広島、その辺の身近な地域史の関心を高めるような工夫がされていると思う。

伊藤委員長 日文、清水、東書。ほかにあるか。

鮎川委員長 帝国書院は各単元に「チェック&トライ」という項が設けられている。

職務代理者 作業を通して時代の要点を習得させるチェック、そして、資料を活用して時代の特色を理解するトライ、この2つで課題追究学習が行われる工夫がされていると思う。

伊藤委員長 調べる学習ということか。

鮎川委員長 調べて、自分で、まず要点を習得する。そして、さらにトライの部分で資料を活用して調べていく、その流れにより各単元でさらに勉強できるように工夫されているのかと私は理解をした。

職務代理者

伊藤委員長 帝国書院か。

鮎川委員長 はい。

職務代理者

伊藤委員長 ほかにあるか。

高木委員 やはり帝国書院であるが、時代末コラムというところで、地理的分野、人間と自然とのかかわりというふうにまとめているが、それから、公民的分野、これは未来へつながる社会という、そんなことで、関連するテーマが追究されていて、横断的な理解ができるような工夫がされているかなと思う。

伊藤委員長 横断的というのは、一つに限らず、いろいろなということか。

高木委員 そうである。

伊藤委員長 ほかにあるか。

宮本委員 私も帝国書院であるが、ここには「歴史の舞台」等というページ

が設けられていて、科学的、具体的な記述でイメージをしやすくする工夫がなされていると思った。また、市民の声にも同様な意見があったと思う。

伊藤委員長

ほかにないか。よろしいか。

それでは、いろいろご推薦もあったが、帝国書院というお声が一番多かったように思う。歴史の教科書は帝国書院でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、社会（歴史的分野）教科書は帝国書院と決定する。次、社会（公民的分野）、願います。

神田教科書選  
定調査委員長

引き続き私が説明する。公民である。

東京書籍。地理、歴史と同じように、大判にした分、巻末法令集が充実し、用語解説を加えて法令を解釈しやすくなっている。本文、図版ともにゆとりある配置になっている。イラストと写真がバランスよく配置されている。単元の構成、配列は適切である。「深めよう」のページは、発展的な内容、時事問題を取り上げて、生徒たちの考察を深めようとする工夫が加えられている。

続いて、教育出版は、「読んで深く考えよう」といったページで、現代社会の問題点を取り上げ、生徒に議論させる教材になっている。巻末資料では、憲法に用語解説をつけ、背景を色分けするなど読みやすく工夫されている。各ページの編集スタイルが一貫していて、流れをつかみやすくなっている。図版の番号は本文の関連項目と一致した番号で記載されており、参照しやすくなっていた。

続いて、清水書院は、単元及び1時間当たりのページ構成も適切な順序で配列されている。巻末資料で憲法の用語解説をつけ、背景を色分けして見やすくしている。人権や裁判に関する説明はわかりやすく工夫されている。本文、欄外注ともに丁寧な記述である。「公民ファイル」のページは内容が多面的で、生徒の視野を広げると考える。挿絵や図、写真は厳選され、見やすくなっていた。

次に、帝国書院は、単元や章ごとの学習のまとめにより、その章の学習内容を確認できるようになっている。また、「チェック＆トライ」で、生徒自身が本文中の内容から解答を見つけられるように

なっている。表記、表現はわかりやすく丁寧である。資料の項目では、現代の日本及び世界が抱える問題を抽出し、生徒の関心を高め、考察を深めさせる工夫が見られる。

続いて、日本文教出版は、「チャレンジ公民」という項目で、生徒の討論を補助する仕組みになっている。思考、判断、表現の力を伸ばす工夫がある。歴史学習の延長としてのとらえ方ができるようになっていて、現代の課題も取り上げられている。視覚障害に関する説明では、実際に点字を組み入れるなどの工夫がある。題材は関西に関するものが多く扱われている。

自由社は、「ここがポイント！」で、基本的な事項の定着を目指している。現在、日本が抱える人権問題や領土問題、安全保障問題などの外交問題の記述に紙数を多く割いている。単元構成や配列は適切である。他者では取り上げない項目、用語を取り上げているところもある。例えば、法令の項目で武力攻撃事態対処法、民法の項目で監護教育権、国の領域の説明では接続水域などである。

最後に、育鵬社は、時事問題を積極的に取り上げている。さらに、賛成、反対の立場の意見記述があり、生徒に議論を促して、思考、判断、表現の能力を高める配慮がなされている。学習資料として自由社と同じく武力攻撃事態対処法を取り上げているのが特徴的であった。日本の伝統文化は資料一覧表形式でまとめている。単元構成や配列は適切である。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、ご質問、お願いします。

宮本委員

社会科の公民的分野の目標としては、個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係について広い視野から正しく認識させるとあるが、教科書ではどのように反映されているとお考えか。

神田教科書選  
定調査委員長

人権や責任についてのことであるが、それぞれの教科書では、自由及び権利、それから責任・義務について、私たちと現代社会、私たちと経済、私たちと政治、私たちと国際社会といった項目ですべて取り上げている。教科書会社別で自由・権利及び責任・義務につ

いて記している箇所を調べると、教育出版と清水書院が多く扱っていた。

伊藤委員長           ほかにはないか。

高木委員            学習指導要領の改訂のポイントでもある現代社会の見方や考え方の基礎を養う学習ということについてはどのように扱われているのか。

神田教科書選定調査委員長    現代社会の見方や考え方であるが、こういった力を養うために、今回の改訂では対立と合意、効率と公正といった概念が取り上げられている。教科書では身近な事例を取り上げたり、社会的事象を多面的にとらえるなど、全編を通じて、その見方や考え方を扱って深めることができるようにしている。

      特に、清水書院は生徒が身近に感じる事例、題材を設けるといった工夫があった。

伊藤委員長           ほかにあるか。

鮎川委員長職務代理者        新学習指導要領では、現代社会における文化に関する意義や影響に関する学習を重視するとあるが、各教科書ではいかがか。

神田教科書選定調査委員長    文化の意義、影響であるが、学習指導要領の内容の取り扱いでは、現代社会における文化の意義、影響を理解させ、我が国の伝統と文化に関心を持たせ、文化の継承と創造の意義に気づかせると示されている。いろんな教科書では、科学、芸術、宗教などを取り上げて、社会生活とのかかわりについて学習できるように工夫されていた。教育出版と清水書院は宗教や伝統文化についての内容を精選して取り上げている。国際社会における文化や宗教の多様性について考えさせるという工夫をしていた。

鮎川委員長職務代理者        ありがとう。

伊藤委員長            難しいところである。

ほかにはあるか。

高木委員 今、大変な就職難でもあるが、若者の就業について、ニート等が今社会問題でもあるが、これについて、要するに社会との積極的なかかわりと、あるいはそういう意欲、そういうことに関しては、各教科書の特徴はどんなふうになっているか。

神田教科書選  
定調査委員長 現代の課題であるが、個人と社会のかかわりに関連した記述としてさまざまな課題が取り上げられている。社会福祉への参画を取り上げたり、社会への貢献について取り上げたりしている教科書がある。取り上げている記述の箇所で行くと、東京書籍、帝国書院、自由社の扱いが多かったと思う。

宮本委員 小金井の生徒さんは環境への関心が高いのではないと思うが、教科書の地球環境に関するさまざまな問題の解決に関する扱い方についてはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長 小金井の生徒は環境に対する関心が確かに高いので、この件に関しては教科書でどのように取り上げているかということであるが、地球環境の悪化だとか地球温暖化について取り上げている。限りある資源を有効に使う、他国と協調関係を築きながら世界全体の発展を支えていくという命題が中学生には課されていると思う。教科書ではそれを接続可能な社会をつくる意欲をとらえて、その意欲を引き出す工夫を各教科書でしていた。この中では清水書院が、この部分の書き進め方が中学生にわかりやすく意欲を引き出すような書き方になっていたかなと思った。

伊藤委員長 ほかはいいか。

鮎川委員長  
職務代理者 公民となると、法律などのことも含まれると思う。教科書の中で、中学生が興味や関心を持てるような工夫がされているなど、そのあたりのことでお気づきになったことはあるか。

神田教科書選  
定調査委員長 新しい課題である情報化社会であるとか、新しい権利というものに触れながら、法律に興味を持てるような工夫がされていた。また、

公民を学ぶ意義について書いている教科書もあり、生徒の学ぶ意識、目的意識というものはっきりとさせるように工夫されていた。

鮎川委員長  
職務代理者            ありがとうございます。

伊藤委員長            それはどの教科書にも見られるという。

神田教科書選  
定調査委員長        はい。

伊藤委員長            わかった。  
ほかにあるか。よろしいか。  
それでは、これより協議に入る。どうぞご意見をお願いする。

高木委員            東京書籍、それから清水書院であるが、先ほどお話のあった、抽象的な概念の対立と合意、効率と公正、これについて、生徒の身近な事例を通して具体的に学習ができるようになっており、その辺がいいなと思う。

伊藤委員長            どんなところが書かれていたか。

高木委員            うまく説明できるかあれだが、例えば、対立と合意というところでは、清水書院であるが、クラスの席替えをする、そこでいろんな意見があって対立が起きる。そこからいろんな配慮、例えば、視力の弱い人は前にか、対等な立場でも配慮しながら一つの合意に持っていくという、そういうようなことであるとか、あと、合唱でのクラスの曲を決める、これもおそらくいろんな意見が出て、最初は対立をしているが、それを一つの曲にまとめていく、そういうような例だったと思う。

それから、効率と公正、ちょっと難しいが、東京書籍のほうでは、1つは、仲のいい3人で10個のイチゴを分ける。3つずつ分けると1つ残る。効率というのはむだということのようで、1個残すのはむだになるので、この1個を残さずにいかに3人で分けるか、これも一つはやはり対等な立場でというところにポイントがあるよ

うで、あと、確か具体的な例では、校庭を運動部が使っていて、一時的に工事があって狭くなって使い方をどうしようか、そういうところでもむだなく、最終的には公正にという、そんなようなことだと、ちょっと説明がうまくないが、そういうところであった。

伊藤委員長 子供たちが自分の課題として考えられるものがそれぞれあるということか。

高木委員 そうである。

伊藤委員長 ほかにあるか。

鮎川委員長 教育出版と清水書院の教科書は、新聞記事や写真など載せてあり、職務代理者 生徒が興味を持つ工夫がされていると思い、よいと思う。

伊藤委員長 新聞教育も位置づけられたので、新聞にかかわる問題を取り上げるということは変わっていることかもしれない。  
ほかにあるか。

宮本委員 清水書院の教科書であるが、本文に対する注釈はもちろんであるが、それ以外にページのわきのところ、いわゆる欄外のところにも注釈が丁寧に書かれていて、大変読みやすくしてあるなどして、生徒の学習に対する配慮が行き届いているのではないかなと感じた。

伊藤委員長 本文中では言い切れないところを注釈でということか。

宮本委員 そうである。

伊藤委員長 広げる意味で、内容量が増えるのかもわからない。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長 先ほど歴史のところでも帝国書院に「チェック&トライ」があつて職務代理者 ととてもよいと申し上げて、公民にも帝国書院に「チェック&トライ」があるのでよいと思っている。ただ、清水書院の教科書がさらによいと感じた点は、巻末資料が大変充実していて、憲法の用語解説な

ども大変見やすく説明されていることである。また、教科書展示会が小金井市の教職員研修センターであったが、その中で市民の方からの自由意見が書かれていた中にも、やはり清水書院の巻末資料が適切であるというお声もあった。

伊藤委員長       ほかにご意見はいかがか。

高木委員         私も清水書院がいいと思うが、全編を通して写真とか統計資料が大変豊富で、生徒が学びを深めることかできると思う。

伊藤委員長       ありがとう。

ほかにないか。いいか。

先ほど委員長の話にも、環境も非常に清水が適切であるというようなお話もあった。皆さんのご意見にも清水書院が适当ではないかというご意見が多いように思う。社会の公民の教科書は清水書院でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長       それでは、社会の公民的分野は清水書院と決定する。

次に、社会の地図についてお願いします。

神田教科書選     地図は2社である。

定調査委員長     まず最初に、東京書籍は、伝えるべき情報量を多くするという命題と、見やすさを追求するという命題の両立を図ろうとしている。資料、統計が充実していて、資料集としての意味合いも濃くなっている。内容、分量については中学生に適していると考える。地図の色合いは全体としてはやや抑えた感じで落ち着いたつくりになっている。

次に、帝国書院は、横幅が広くなり、見やすさを向上させようという意図があらわれている。さまざまなテーマ別の地図が多く掲載されていて、実際の指導場面での活用の幅を広げている。鳥瞰図もあって立体的に見ることができるようになっている。中心となる地図はほどよいコントラストの彩色で、地形の様子をつかみやすくなっている。



きるようにしている。

グラフ、写真、図の扱っている数としては帝国書院のほうが多く載っている。

伊藤委員長

ほかに質問あるか。よろしいか。

それでは、協議に入る。ご意見を願います。

宮本委員

東京書籍の地図は、資料図の近くに関連した写真を掲載するなど、生徒が具体的に地域の様子をつかめるような工夫がされていて学習効果があるのではないかと考えた。

それから、図やグラフ、統計資料なども見やすく、こういうことから地理的な考えを深めるのに有効ではないかと思った。

高木委員

帝国書院の地図も、航空写真とか景観写真を地図と適切に組み合わせていることで、地域の特色や状況を具体的に明示しやすくなっているなど思う。

伊藤委員長

では、どちらも同じだということか。

ほかにはどうか。

鮎川委員長  
職務代理者

帝国書院は、基本図、資料図、グラフや写真、図など、すべて充実している。先ほどのご説明にも、基本図や基本図法の種類、数、資料図の数なども帝国書院の地図が多く載っているというお話があったが、確かに私も拝見してそうだった。

生徒の地理的な技能を高めて、さらに地理的事象に関する関心を高めることができると思う。

あと、私も地図を使うとき、索引を大変よく使うが、索引に載っている地名数も、日本、世界とも帝国書院のほうが多いと思う。

伊藤委員長

資料や、生徒たちが選択する材料が多いと、そういうことでよろしいか。

鮎川委員長  
職務代理者

そうである。

伊藤委員長           ほかにはあるか。

高木委員           先ほど、地理的分野で帝国書院ということになったので、その関連という意味でも、地図も帝国書院がよいと思う。

伊藤委員長           地理的のが帝国書院であるのでということか。

高木委員           はい。

伊藤委員長           ほかにないか。

私も、1つ、おもしろいなと思ったところがある。それは、帝国書院であるが、掲載された地図が2つおもしろいと思った。1つは、大陸から日本を見た地図というのがあった。日本が天井のほうに長細くなっていて、大陸から見るとそういうふうに見えるよと。もう一つは、大西洋が真ん中に書かれていて、アメリカとヨーロッパがこんなにも近いんだ、私たちが見る地図というと、アメリカとヨーロッパというと本の端から端に書かれている部分が多いので、あんなにも近いんだというような、視点の違った地図が掲げられているということが、子供たちの理解度や想像力を養う上でおもしろいのではないかな。違った視点を与えることができるのではないかなと帝国の地図を見て思った。

ほかにはないか。よろしいか。

東書の推薦もあったが、皆さんのご意見、帝国書院が多いと思う。地図は帝国書院に決定してよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、社会、地図は帝国書院に決定する。

次、数学、お願いします。

吉田教科書           かわって私から数学の説明をする。

選定調査           まず、東京書籍は、教材や資料が正確でわかりやすく、内容も満足できる適切なものである。内容と分量は発達段階に応じたものになっている。導入の教材は身近なものや基礎的な内容を中心に据え、学力の差を問わず扱いやすいと思われる。例題の解答がノート形式

で書かれていて、正確で模範的としてわかりやすくなっている。巻末が課題編、問題編となっていて充実している。

大日本図書は、適切な単元配列であり、教材や資料は正確でわかりやすく適切である。文章の表現が丁寧で、活字も大きく、読みやすくなっている。内容は、発達段階に応じたものになっている。各章ごとの問題の解答が章のすぐ後ろにあることと、巻末に数学的な読み物があるのが特徴である。表記・表現では、色の種類が多く、濃い色や原色が多く使われている。

学校図書は、例題の内容が平易で、導入の教材は身近なものを扱っている。解説がよくまとめられていてわかりやすいと思われる。資料も正確で、特に例題がわかりやすくなっている。巻末の自由研究、課題研究のページが充実している。イラストや図が豊富で見やすく、写真も新しく身近でわかりやすいものが使われている。

教育出版は、導入の教材は身近なものを扱っている。基礎、発展問題がバランスよく含まれている。教材や資料は正確でわかりやすくなっている。単元の構成、配列は適切で、解説が丁寧にされている。内容は、発達段階に応じていて、表記、表現も適切で、イラストが多様されていてきれいである。写真もカラフルで背景などもいろいろな色が用いられている。

啓林館は、教材は全体的にわかりやすく適切である。資料は正確で、例題がわかりやすく記載されている。記号、式、イラスト、図、写真などは見やすく、わかりやすくなっている。単元の構成、配列は適切であり、発達段階に応じた内容と分量である。重要な箇所がわかりやすいように表示され、例題と問題の区別がつきやすい工夫がされている。

数研は、導入の教材は身近なものや親しみやすいものが使用されている。教材資料は正確でわかりやすくなっている。巻頭に小学校の復習が6ページ掲載されている工夫が見られる。練習問題の質が高い、説明にキャラクターの種類を多く使っている特徴もある。

日文は、導入の教材は身近なわかりやすいものを扱って適切である。計算から数量、図形へと取り組みやすい単元から徐々に抽象的な概念の難しい単元へと構成配列がされている。方程式を手際よく解く方法や、和、差の平方を手際よく展開する方法などの記述が目を引き。計算にコンピューター活用などを紹介しているのが特徴的である。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、どうぞ質問をお願いします。

鮎川委員長  
職務代理者

新学習指導要領では、基礎的、基本的な知識、技能の確実な定着に向け、反復指導の充実がポイントと言われている。各教科書ではこの点についてどのように反映されているとお考えか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

7社あるが、大日本図書、それから教育出版は、導入で、今まで学んできた事柄、既習事項を確認する復習ページを設けてある。また、東京書籍、学校図書、啓林館などは節ごとの節末に、学習の最後に繰り返し学習をする機会を充実させるための工夫が見られる。

鮎川委員長  
職務代理者

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにはあるか。

高木委員

新学習指導要領では、数学的活動の充実ということについても言われているが、この辺はいかがか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

ほとんどの教科書が新しい部分では「数と式」それから「図形」「関数」資料の活用、この4領域を扱っているが、その中で数学的な活動を設けてある。そして、各教科書の中では、先ほど話したが、既習の、今まで習った部分の数学をもとにして、数や図形の性質を見出す活動や、日常生活で数学を利用する活動、それから、数学的な表現を用いて、自分なりに説明したり、伝え合う活動などが扱われている。さらに、数学的な活動の取り上げ箇所も、数で言うと、大日本図書、学校図書、啓林館が多く扱っていて、数学的活動を充実させる工夫が見られる。

伊藤委員長

わかった。

ほかはいいか。

- 宮本委員 各教科書で例題、問題数について違いが見られるようであるが、選定委員会としてのご見解を教えてください。
- 吉田教科書  
選定調査  
副委員長 一応確認をして、ほとんどの教科書では例題が約1割弱で、その他の問題が9割強というのは変わらない。その中で、東京書籍、大日本図書、教育出版などは、例題や問題数、これは多く取り上げて、より一層の理解定着を図る工夫がされている。また、学年ごとの問題数を比較してみると、東京書籍、教育出版は例題や問題数が、各学年、バランスよく配置されていると思う。
- 伊藤委員長 そのほか、いかがか。
- 宮本委員 小金井の生徒さんの実態を考えたときに、発展的な学習ということがより充実しているということが必要ではないかと思うが、選定調査委員会では教科書の発展的な課題への取り組みということについてはどのようにお考えになっているか。
- 吉田教科書  
選定調査  
副委員長 ほとんどの教科書では、それぞれ領域別、先ほど言った4領域あるが、領域別に個に応じた発展的な題材などは設定されている。その中で、東京書籍、大日本図書、学校図書は比較的多くの項目を扱っている。一人一人の個に対する、手厚く対応しているというようなところが見える。
- 宮本委員 ありがとう。
- 伊藤委員長 ほかに質問ないか。よろしいか。  
それでは協議に入る。どうぞご意見をお出し願う。
- 宮本委員 教育出版と啓林館は練習問題の数が多くて、基礎的、基本を確実に理解定着できるのではないかと思った。
- 伊藤委員長 たくさん学習を積み重ねるとのことか。  
ほかにはあるか。
- 鮎川委員長 東京書籍は、基本的な内容では、例、確かめ、問いという手順で

職務代理者 問題演習に取り組めるようにするなど、とても丁寧に掲載されていると思う。

伊藤委員長 東書が丁寧であるということか。

鮎川委員長  
職務代理者 はい。

伊藤委員長 ほかにはあるか。

宮本委員 啓林館と数研であるが、学び直しの機会とか、または習熟が少し遅い生徒への手立てとして練習量の確保とか、理解を深めようとする、そういう手段というのがあっていいのではないかと思った。

伊藤委員長 ほかにはいかがか。

高木委員 先ほどお答えいただいたが、数学的活動の取り上げ方であるが、大日本、啓林館、学校図書、さらにあえて言えば東京書籍、この辺が多くなっているのかなと思う。

伊藤委員長 問題数ということか。

高木委員 数学的活動を取り上げている箇所数である。

伊藤委員長 わかった。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者 先ほど宮本先生から学び直しというような言葉が出たが、東京書籍は教科書のページの右側のほうに小さな点線で囲んだ「ちょっと確認」というコーナーがたくさんある。これは、例えば、比の値は何かとか、最小公倍数は何かというような、小学校などで既に習った内容を確認できるように、既習内容を忘れてしまっていたとしても、そこで思い出せるような配慮がされていると思った。

また、誤答例を示した間違い例というコーナーがあって、生徒が間違いやすい答え方の例も示されていたので、基礎的、基本的なこ

とを身につけるのに大変よいと感じた。

伊藤委員長 自分で確認しながら進めるということか。

鮎川委員長  
職務代理者 そうである。忘れてしまっていたところも思い出したりであるとか、こういう間違いはしやすいんだなというのが目につくようになっていていると思う。

伊藤委員長 丁寧な扱いということか。

鮎川委員長  
職務代理者 はい。

伊藤委員長 ほかにはあるか。

高木委員 私も東京書籍がいいと思うが、個に応じた発展的な題材について最も多く扱っているし、それから、補充的な問題の扱いもよいということで東京書籍がいいと思う。

伊藤委員長 ほかに意見はないか。  
一人一人たくさんあって、間違いも確認しながらというようなことか。  
それでは、ご意見も出尽くしたようであるが、皆さんで、東京書籍というお声が多いように拝見する。数学は東京書籍でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 それでは、数学は東京書籍と決定する。  
次に、理科をお願いします。

神田教科書選  
定調査委員長 理科について、私から説明する。理科は5社ある。  
まず初めに、東京書籍は、学習内容の系統性を重視した配列になっている。学習項目ごとに課題を提示し、次に、観察、実験、さらにその次に結果を考察し、まとめるという順で構成されている。各章は大きな写真から始まっており、生徒の関心を高める工夫がされ

ている。数値処理のつまずきに対応するために算数、数学で既に習った事項を関連する部分で示すようになっている。

続いて、大日本図書は、学習内容の系統性を重視している。章の最後で、その章で学んだ内容を活用して課題を解決する方法を示している。観察、実験の結果を分析する際の着目点を示し、法則性を発見させる手がかりを記載している。あいまいさをなくすために、やや高度な内容にも踏み込んで説明している。図や写真が整理、分類されていて、わかりやすくなっている。

次に、学校図書は、分野ごとの配列になっていて、1、2分野並行で授業を進める学校にも配慮した単元構成になっている。各単元の初めに、小学校で学んだ事項との関連を示している。観察、実験の方法を示すためにイラストを多様している。写真も多く用いられ、視覚的にわかりやすさを追求している。文章による説明は論理的な説明になっている。

次に、教育出版は、分野ごとの配列で、1、2分野並行の授業を進める学校に配慮した単元構成である。日常よく触れる機会の多い題材を中心に、わかりやすい教材が提示されている。資料の種類は多く用意されている。観察、実験の結果や、そこから考察されることは簡潔にまとめられている。写真や図はよく整理されていて、わかりやすくなっている。

最後に、啓林館は、分野ごとの配列である。附属のマイノートにより、基礎基本の定着を図ろうとしている。つまずきやすいところや定着が低いところには、「なるほど」というコーナーがあり、理解を助けるようになっている。発展的な内容については、「科学の広場」という項目の中で、学習内容と日常生活のかかわりを取り上げ、興味、関心を高める工夫を加えている。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、どうぞご質問、お願いします。

宮本委員

理科では、観察とか実験などの活動が大切だと思うが、今度は実験の安全面について、そういう配慮の観点から教科書を見たときにどうなっているのか、ご見解があったらお知らせ願う。

神田教科書選  
定調査委員長 理科は実験を伴うので、安全については常に配慮しなければいけないところであるが、どの教科書も実験器具の安全な扱い方については説明があつて、十分に配慮されていると考えた。

伊藤委員長 特に特徴的なことはあつたか。

神田教科書選  
定調査委員長 特にそれはなかつた。

伊藤委員長 ありがとう。  
ほかには、ご質問、どうか。

宮本委員 学習指導要領では科学的な見方や考え方を養うとあるが、その点について選定委員会では教科書のどのような点に着目されたのか。

神田教科書選  
定調査委員長 科学的な見方や考え方である。理科では観察、実験が重要な項目であろうと考えた。教科書が観察、実験をどのように生徒に主体的に取り組ませるかという観点で見た。東京書籍と大日本図書、啓林館は、複数の実験素材や実験方法を示して、生徒が興味、関心を高めて、主体的に学習を進められるという工夫をしていた。

高木委員 生徒の科学への関心を高めるために、各教科書ではどんなふうに扱っているか。

神田教科書選  
定調査委員長 関心を高めるためにという点に関しては、実生活や実社会にどのように理科がかかわってくるかというところがポイントだと確認をして、そこを見た。大日本図書とか啓林館は、日常生活や社会と理科の関連する項目、内容を多く扱っているのがわかつた。

伊藤委員長 子供たちの関心を引きやすいという意味か。

神田教科書選  
定調査委員長 はい。

伊藤委員長 ほかにはあるか。

宮本委員 学習指導要領の中にも放射能の記述ということについてあると思うが、この点についてはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長 放射能に関しては、学習指導要領ではエネルギー資源というところの、特に原子力に関して放射線の性質と利用にも触れることというふうに示されている。これを受けて、教科書では、放射線の性質や、その技術の社会的な活用について触れている。学習指導要領に準じて扱っていると考える。

伊藤委員長 今最も注目されているところである。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者 先ほど公民のところでも宮本先生もおっしゃっていたが、小金井の生徒は環境への関心が大変高く、意識も大変高いと思う。この点について教科書の扱いはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長 小金井の子供たちの環境への意識というのは非常に高いというのは、確かにおっしゃるとおりだと思う。そのことに関してであるが、環境に関する学習部分にマークをつけるというような工夫で、生徒が意識できるようにしているというのがあった。啓林館は全単元で環境に関する話題や内容を取り上げている。それから、東京書籍や学校図書は「環境コーナー」というのを設けて、そこで説明するようにしていた。

鮎川委員長  
職務代理者 ありがとう。

伊藤委員長 ほかにご質問ないか。よろしいか。  
それでは、協議に入りたいと思う。どうぞご意見をお願いする。

鮎川委員長  
職務代理者 東京書籍と大日本図書は第1分野、第2分野の区別をなくして、単元ごとの配列をしているようである。小学校からの関連性という視点で教科書を見ると、このような単元の配列もよいのかなと思っている。

- 伊藤委員長 分野別でないということか。
- 鮎川委員長  
職務代理者 はい。
- 伊藤委員長 わかった。  
ほかにご意見あるか。
- 高木委員 啓林館であるが、単元を生命、地球、物質、エネルギーというふうにまとめているが、これは大変読んでわかりやすいと感じた。
- 伊藤委員長 また、啓林館は最後の部分に「地域の資料集」「きみも科学者」「もう一つ」「サイエンス資料等」そして、「環境」という単元というか、まとめをつくっていて、何がどこにあるのかなというのが見やすいかなと思った。  
ほかにはあるか。
- 鮎川委員長  
職務代理者 何か、あれもよい、これもよいになってしまいそうだが、探求する活動で見ると、大日本図書の巻末の「科学の扉を開こう」は、課題研究、自由研究を掲載していて、この点は大変充実していると思う。
- 伊藤委員長 ほかにはあるか。
- 宮本委員 啓林館であるが、附属に別冊としてのマイノートというのがついている。これは市民の方からもユニークなものだという評価もあったようだが、このノートというのは、疑問とか予想、そういうものを整理して記述するようになっている。生徒の理解を深めるというのにはいいものではないかなと思った。
- 鮎川委員長  
職務代理者 確かに宮本先生がおっしゃるとおり、啓林館のマイノートは、市民の方からのご意見もあり、内容もすばらしいと思う。先ほど伊藤委員長もおっしゃっていたが、環境問題についても啓林館が多く掲載されている。先ほども、小金井の生徒の関心の高い環境問題につ

いて、啓林館が一番内容が充実しているというようなご説明で、単元で環境に関する話題が取り上げられているということである。確かに教科書を拝見して、1と2では、それぞれの最後に地方ごとの自然環境がまとまっていて、また、3では、環境を大きな章として独立させて取り上げているので、やはり啓林館がよいと思う。

伊藤委員長 神田委員長に少しお尋ねさせていただいてよろしいか。  
マイノートについて、よいという評価もあって、市民からも大変充実しているというお話があるが、別冊であるということについて、ほかのところでは別冊があって使いにくいというような、確かあったようにも思うが、選定調査の委員会の中ではその辺のお話についてはいかがか。

神田教科書選 別冊というのは確かに使いにくいという面もあるが、内容が基礎  
定調査委員長 基本の定着というところに非常に意識がいているというところがマイノートのよさを認めるというような評価になっていたと思う。

伊藤委員長 使いにくくても内容的にすぐれていると評価をしたということで理解してよろしいか。

神田教科書選 はい。  
定調査委員長

伊藤委員長 ほかにご意見あるか。よろしいか。  
そうすると、啓林館がよいという意見が出されていると理解する。理科の教科書は啓林館でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 それでは、理科の教科書は啓林館出版とする。

向井教育長 委員長、そろそろ2時間にかかるが、このままいっちゃうか。出ちゃうのは構わないが、皆さん。5分ぐらい休むならちょうどいいタイミングにかかったものであるから提案する。

伊藤委員長 教育長が優しい思いやりを示していただいたので、若干休憩する。

休憩 午後3時28分

再開 午後3時35分

伊藤委員長 再開する。  
音楽（一般）の説明をお願いします。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 私から、音楽（一般）を説明する。  
まず、教育出版は、歌唱教材が多く、指導の際に選択の幅がある。  
鑑賞は資料として使いやすい配慮が見られる。歌唱、鑑賞、創作の  
各分野とも教材が正確で説明もわかりやすくなっている。教材の配  
列は3つの柱で構成してあり、何を学習するかが理解しやすくなっ  
ている。図や写真、挿絵など、わかりやすい工夫が見られる。日本  
の伝統音楽に関する写真を折り込みで3ページ入れるなどの工夫  
が見られた。昔からの曲が多く使われている、鑑賞については資料  
の量が多い特徴がある。

教育芸術社は、歌唱、鑑賞教材ともに新曲が加えられ、生徒の興  
味、関心を引く教材が多く見られる。教材の配列は、歌唱、鑑賞、  
合唱に分かれている。表現の分野での発声や曲の表現に関する解説、  
創作分野での段階的な学習、鑑賞の分野での鑑賞ポイント、指揮法  
に関する資料がわかりやすくなっている。教科書のサイズを大きく  
して楽譜などを見やすくする工夫が見られる。口絵のページなどを  
はじめ、曲や絵、写真が豊富で興味関心を引く工夫が感じられる。  
以上である。

伊藤委員長 ありがとう。  
それでは、質問、お願いします。

鮎川委員長  
職務代理者 新学習指導要領では、音楽文化について理解を深めるとある。各  
教科書ではこの点についてどのように扱われているか、選定調査委  
員会の見解を教えてください。

吉田教科書  
選定調査 学習指導要領では、1つに、我が国の郷土や伝統音楽に対する理  
解、2つ目に、音楽文化に対する愛着を持つことなどが求められて

副委員長 いる。また、諸外国の音楽、文化などを尊重する態度の育成が求められている。教科書では、我が国や郷土の伝統や諸外国の音楽、資料について取り扱っている。

鮎川委員長  
職務代理者 ありがとう。

高木委員 音楽の表現教材、それから鑑賞教材についての見解はいかがか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 教育出版、教育芸術社、どちらも題材やその内容については充実しているのだから差はない。国や地域、曲数を比較すると、教育出版が多く取り扱っているという特徴はある。

伊藤委員長 ほかにいいか。

宮本委員 教科書の構成上の工夫についてはどのようにとらえられているか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長 まず、教育出版であるが、題材に加えて指導、内容を明確に示すなどの工夫がされている。教育芸術社は、吹き出しの活用など、また、生徒が活動を意識できるように、思考や判断、表現力の育成に向けた工夫が教科書の中には見られる。

伊藤委員長 ほかにご質問あるか。よろしいか。  
それでは、協議に入る。どうぞご意見、お願いする。

宮本委員 教育芸術社であるが、楽譜が見やすいのではないかと思います。このことは、まず、見やすい色遣いとか紙質が関係しているのではないかと思います。

鮎川委員長  
職務代理者 教育出版は、題材と活動のポイントが同じ場所に明記されるなど、生徒にとってわかりやすい工夫がされていると思う。

伊藤委員長 ほかにいかがか。

高木委員 教育芸術社がいいと思うが、歌唱教材、鑑賞教材ともに、先生方

の調査資料によると、小金井の生徒の興味、関心を引くものが多いとなっている。教育芸術社がいいと思う。

伊藤委員長 先生方のご実感から出た言葉だと、そういうことか。

高木委員 はい。

伊藤委員長 ほかにはあるか。

鮎川委員長 教育出版は、歌唱教材の数が大変多いが、一方、教育芸術社は、  
職務代理者 従来の曲に加えて、新しい曲が加えられていて、大変新鮮さがある  
と思う。

今、高木先生がおっしゃったとおり、生徒の興味、関心を引くという観点から考えると、新しい曲も含まれている新鮮さがあるという点では教育芸術社がよいのかなと思う。

伊藤委員長 わかりやすさでは教育出版がよろしいのではないかというご意見であったが、興味、関心という観点から見ると教芸かなということか。

鮎川委員長 そうである。  
職務代理者

伊藤委員長 ほかにはあるか。よろしいか。

それでは、2社であるので甲乙つけがたいところがあるが、皆さんのご意見は教育芸術社ということではよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 それでは、音楽（一般）、教育芸術社に決定である。  
それでは、音楽の器楽を、ご説明、お願いする。

吉田教科書 引き続き、私のほうで音楽（器楽）を説明する。  
選定調査 教育出版は、教材は興味を持って取り組める内容になっていて適  
副委員長 切である。リコーダーの内容が充実していて、ページ数も多く、段

階的に示されている。資料の写真により比較的正確にとらえられるように工夫されている。教材にラテンパーカッションを取り入れていて、多様な選択が可能になっている。合唱曲やアンサンブル曲が充実していて、和楽器を取り入れた合奏曲が多いのも特徴である。

教育芸術社は、適切な教材が多く扱われている。また、資料がわかりやすく効果的に使われている。リコーダー、ギター、和楽器と、取り組みやすい配列の工夫が見られる。和楽器のページは充実していて、授業で扱う琴のページは充実が見られる。合奏やアンサンブル曲の楽器の組み合わせが生徒の実態に合っている。プロの演奏家資料を使ってイメージしやすくさせているところや、楽器説明や練習曲が段階的に習得できるようところに工夫が見られる。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにご質問、いかがか。

高木委員

器楽についての曲数、あるいは資料の数についてはいかがか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

一応、選定委員会のほうで確認をした数値があるのでご報告する。我が国や郷土の伝統や諸外国の音楽、2つに分けて教科書で取り扱っているが、その曲数でいうと、我が国の郷土の伝統音楽に関しては教育芸術社が182曲、教育出版社が143曲、それから、諸外国の曲数の資料数で答えると、これは教育出版、それから教育芸術社ともに161曲で同じになっている。扱いの数で言えば、今申し述べたとおりであるが、教育芸術社のほうが、我が国の郷土の伝統音楽に関しては多く扱っているということが言える。

伊藤委員長

ほかにはないか。

鮎川委員長  
職務代理者

器楽の表現教材についてのご見解はいかがか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

2つの会社ともに、先ほど言ったが、リコーダーとか打楽器、和楽器等に関しては同じように扱っている。それから、取り上げられている楽器の種類別では、若干、教育芸術社のほうが多く扱って

いるということがある。

鮎川委員長  
職務代理人

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにご質問あるか。宮本委員、よろしいか。

宮本委員

特にない。

伊藤委員長

それでは、協議に入る。どうぞご意見を願います。

高木委員

教育芸術社がいいと思うが、先ほどの曲数、資料数が多いということと、取り上げている楽器の種類も多いということで、教育芸術社がいいと思う。

伊藤委員長

ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理人

教育出版はリコーダーの学習にページ数を多くとっていて、説明や練習曲なども段階的になっているのがよいと思う。調査資料にもそのように記載されている。

伊藤委員長

ほかにご意見はあるか。

宮本委員

私も教育芸術社がいいのではないかと思うが、楽器の説明とか、または練習曲が初心者から段階的に習得できるというような形になっていることがいい点ではないかと思った。

伊藤委員長

ほかにご意見ないか。

打楽器の扱っている数なんかはどちらも同じなのか。私が見たところではやや教育芸術社のほうが多いのかなと思ったが。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

先ほど鮎川委員からお話があったが、若干、教育芸術社のほうが多いということである。

伊藤委員長           あまり変わらないということか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

伊藤委員長           ほかにはないか。

私、和楽器を扱っているところで、和楽器を扱う姿勢について非常に懇切に書かれていたのが教育芸術社じゃないかと思った。なれない楽器であるので、どういう姿勢でどういうふうにするのかということを中心に詳しく図解というか、写真で示してあるところが、現実にはあまりなじみのない楽器を扱う生徒たちにとってはよいのではないかなと感じさせていただいた。

ほかにはないか。それぞれこれがよいというところがあったら。よろしいか。

ご意見は少ないが、我田引水になったら困るが、音楽（器楽）は教育芸術社でよろしいか。

（委員一同異議なしの声）

伊藤委員長           それでは、音楽（器楽）、教育芸術社と決定する。  
次に、美術をお願いします。

神田教科書選           美術は私から説明する。美術は3社である。

定調査委員長       まず、開隆堂は、デザイン分野がすぐれている。鑑賞作品写真のわきに鑑賞する上でのきっかけとなる問いかけがあり、取り組みやすくなっている。題材ごとの自己評価を確認する言葉も、学習を振り返り、次の意欲につなげるものになっている。取り上げてある作品例には生徒作品が多くある。説明文はわかりやすく、読みやすい表現になっている。

次に、光村図書は、絵画とデザインの教材が適切で、作品例も参考にしやすいと考える。生徒作品例が多く、教材と対応した参考作品としてわかりやすい特徴がある。技法や制作手順が多く解説されており、現代作家やメディアに取り上げられる作家が登場し、身近で親しみやすい工夫だと考える。鑑賞のページは見開きで大きく、

生徒に強い印象を与えることができると思う。

最後に、日本文教出版は、絵画とデザインの教材が適切である。美術史年表は、日本と西洋、中国の影響が矢印で示されていて、わかりやすい工夫となっている。一般美術史以外にもデザインの変遷を取り上げ、生徒の興味、関心を引き出すと思われる。作品例は生徒作品が多く採用されている。作品例の横にポイントが示されており、制作の上で発想や構想の手がかりとなる。

以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
                              ご質問、どうぞ。

高木委員                新学習指導要領では、美術文化についての理解を深めるということが新たに加わったが、これについての調査選定委員会のご見解をお知らせ願う。

神田教科書選            美術文化についての理解であるが、どの教科書も美術文化の理解定調査委員長        を深めるために、表現題材、鑑賞題材、双方の掲載の充実に努めている。日本文教出版では表現題材が充実している。光村図書では鑑賞題材、それから開隆堂では美術作品の数が多くなっているという扱い、これが特徴である。

生徒が多様な美術文化に触れる工夫がそれぞれされていると考える。

伊藤委員長            それぞれ特徴があるということか。

神田教科書選            はい。定調査委員長

伊藤委員長            ほかにはないか。

宮本委員                美術の目標には、美術の基礎的能力を高めるとあるが、教科書の扱いについてはどのようか。

神田教科書選            基礎的能力であるが、教科書では表現技法、材料、用具の扱いに

定調査委員長 ついてそれぞれ具体的に示している。中でも光村図書はその部分について多く取り上げていると思う。

伊藤委員長 ほかに質問あるか。いいか。  
それでは、協議に入る。ご意見、お願いします。

高木委員 生徒の作品例が多い、あるいは生徒の活動の様子を扱っているという点では開隆堂がいいと思う。

伊藤委員長 生徒の作品が多いということか。身近であるということか。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長 デザインにかかわるページは日本文教出版が多いと思う。一方、  
職務代理者 鑑賞のページは光村図書が多いので、いいと思う。

伊藤委員長 デザインと鑑賞、それぞれ特徴があるということか。

鮎川委員長 そうである。  
職務代理者

伊藤委員長 ほかにはいかがか。

宮本委員 私も、日本文教出版は題材ごとに学びのねらいが示されており、  
学習の見通しが立てやすいのではないかと思った。

高木委員 光村図書も表題の横に目標が示してあって、学習のねらいがわかり  
やすい、生徒にとっては取り組みやすいと思う。

伊藤委員長 文教と同じであるということか。  
ほかにはいかがか。

鮎川委員長 光村図書は、美術の技法であるとか、制作手順がとても丁寧に解  
職務代理者 説されていて大変わかりやすいと思う。完成した作品だけでなく、  
どのようにして制作されていくかという過程がわかりやすく書かれていてよいと思う。

伊藤委員長           ほかにもう少しご意見いただけるか。いいか。

宮本委員           光村図書であるが、作品をつくった作家や生徒の作品というのがあるが、その気持ちがわかるように作者の言葉というのを紹介されている。これは、生徒の興味や関心を引き出す工夫がされているのではないかと思った。

伊藤委員長           ほかにはよろしいか。

非常に小さいことであるが、私が見せていただいたときに彫刻刀を使っている向きで、見方によっては非常に危険かなと思われるような手の添え方をしている部分が日本文教出版にあった。なぜそういうふうにもその写真が載せられたのかなというので少し疑問に思った部分があった。感想みたいなもので申しわけないが。彫刻刀の向かっている前に手を置いているというような写真が載っていたので。ただ、刃先がこちらを向いているので、こっちへ進むのかなとか思ったが、ぱっと瞬間的に危険ではないかと思ったという感想を持ったものである。

ほかにはよろしいか。

それでは、皆様のご意見で光村図書というご意見が多いように伺わせていただいたが、美術の教科書は光村図書でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、美術は光村図書と決定する。

次に、保健体育をお願いします。

吉田教科書           それでは、保健体育を説明する。保健体育は4社である。

選定調査           東京書籍は、教材は適切に扱われている。詳しい資料が多く、授業内容に広がりを持たせやすいと思われる。単元の構成、配列に問題なく、また、分量、内容についても適当である。読みやすい表記、表現であり、ですます調で統一されているので、読みやすくなっている。各章の終わりに確認問題と活用問題があるのは、工夫が見られる。

大日本図書は、適切な教材が扱われている。資料が豊富でわかり

やすくなっている。一つの単元が、見開き2ページにわたって簡潔にまとめられている。構成、配列ともに適切で、分量もほぼ適切である。読みやすい表記、表現であり、写真よりカットを多用して、親しみやすく、わかりやすくしている。グラフなども、カラーで見やすく工夫されている。

大修館は、教材は適切に扱われている。理解を深めるための工夫がある。学習に関連したインターネットのホームページが紹介されているのは、ICT活用に向けて工夫が見られる。構成、配列ともに適切であり、表記、表現にはわかりやすい工夫が見られる。写真、挿絵など適切に配置され、見やすく、興味を引くものになっている。

学研は、教材、内容は適切に取り扱っている。資料は詳しく、授業に広がりを持たせる工夫が見られる。グラフや表などの情報量が多く、最新のデータを用いている。探求として、発達段階に応じた具体的な研究課題が示されていて、みずから学習課題を設定するヒントを提示している。記号、挿絵、写真など、わかりやすく興味を持てるようなものになっている。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、どうぞ、ご質問をお願いします。

宮本委員

保健体育科の目標には、運動に親しむ資質、能力を育てるとあるけれども、教科書の扱いについてはどのようにお考えか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

親しむか。教科書では体育分野の中で、運動やスポーツの多様性、心身の発達に与える効果と安全、文化としてのスポーツの意義として掲載してある。

具体的には、大日本図書、そして学研の中には、コラムやトピックスとして事例を紹介している。生徒の関心を高める工夫がされている。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにあるか。

鮎川委員長

自然災害に関して、3月11日に東日本大震災が発生し、

職務代理者      ほんとうに多くの方が心を痛めていらっしゃると思う。まだ悲しみから立ち直っていらっしゃらない方、生活がまだ元に戻っていらっしゃらない方もたくさんいるかと思う。教科書で扱っている自然災害や防災について、選定委員会の見解をお知らせ願う。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長      教科書の中で、写真とかイラストなどを活用して、自然災害への備えとか脅威に対しては取り上げられている。

副委員長      具体的には、東京書籍や大日本図書などには、実際に災害を体験した方の話とか行動を載せて、より学習が深められるような工夫がされている。また、学研には、コラムで被災された方の心の傷にも触れる、そのような部分があって、心身の健康や安全教育の充実に関しては載って、しっかりそれを図られている。

鮎川委員長  
職務代理者      ありがとう。

高木委員      薬物乱用について、社会的な問題になっているけれども、各教科書では薬物乱用、あるいは喫煙とか飲酒、その辺の扱い、されているわけだけでも、特徴はどんなふうにお考えになるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長      教科書の中では、今出た喫煙、飲酒、薬物に関して、当然、体に影響があって害があることに関して、きちんと載せて、表記してある。それをわかりやすく表やグラフ、写真などを用いて説明をしている。

副委員長      具体的には、大日本図書、大修館、学研などは、それらのきっかけと防止策について、イラストなどを活用して説明、それから、例えば広告の分析例やケーススタディーなどの紹介なども含めて、防止に関する内容を充実させている。

伊藤委員長      ほかはよろしいか。

宮本委員      性感染症、エイズなどであるが、教科書の扱い方で、何か特徴的なものというのはあるのか。

吉田教科書      これも、どの教科書でもきちんと扱っているので、学習指導要領

選定調査副委員長 準じた内容が示されている。  
具体的には、資料などでは、性に関することなどに配慮しながら、これもイラストとかグラフ、表などを用いて、性感染症やエイズについての解説、予防については取り扱っている。

宮本委員 ありがとう。

伊藤委員長 ほかにあるか。ご質問はよろしいか。  
それでは協議に入る。ご意見をお願いします。

宮本委員 東京書籍は、詳しい資料が多くて、授業の幅が広がるイメージが持てて、いいのではないかなと思った。

伊藤委員長 東書がよろしいのではないかということか。  
ほかには。

高木委員 学研についても、同じように詳しい資料が多くて、あと、選定調査委員会の、要するに先生方のご意見でも、授業の内容に幅を持ちやすい、広がりを持ちやすいということで、いいと思う。  
また、グラフ、表、情報量も多いということなので、学研もいいのではないかなと思う。

伊藤委員長 学研も同じように資料が多いということか。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長 職務代理者 大日本図書は、イラストを豊富に使用していて、生徒にとって親しみやすいと思う。特に人物のイラストは、喜怒哀楽が大変わかりやすく、教材の理解に役立つと思う。  
例えば、64ページから67ページの心の健康に関する部分では、難しい内容だけれども、そのイラストも心の様子がよくわかるイラストで、生徒にとっても理解の助けになるかと思う。

伊藤委員長 感情を顔の絵であらわすというようなことが、このごろ大変多く行われているが、それに近いものかということか。

鮎川委員長  
職務代理人

はい。

伊藤委員長

ほかにあるか。

宮本委員

性に関することというのも、各教科書で取り扱っているけれども、学研は、その中でもQ&Aというような形をとっている。だから、回答というのが生徒にわかりやすいような形で記載されているのではないかと思った。

伊藤委員長

鮎川委員、いかがか。心情にかかわることはイラストであるというのと、Q&Aということで。

鮎川委員長  
職務代理人

そうである。それもわかりやすい。

伊藤委員長

身近なQにかかわって、すぐに適切なAがあるということだろうか。アスク、クエスチョンと。でも、イラストも、見た目ですぐわかるから。

ほかにはいかがか。

鮎川委員長  
職務代理人

私が先ほど質問申し上げた自然災害などに関する点、自然災害や防災に関するページは学研が多く扱っていて、大変充実していると思う。

そして、大変細かなことだが、学研の自然災害のページでは、津波が繰り返し訪れるということが記載されていた。他社ではなかったかと思う。東日本大震災の前に作成された教科書だけれども、繰り返し訪れることの怖さ、さらに、第1波より大きなものが訪れることもあるということまで書かれていたので、とても大切な知識だと思うので、よいなと思った。

伊藤委員長

学研か。

鮎川委員長  
職務代理人

学研である。

伊藤委員長           ほかにあるか。  
                          宮本先生、特に、何かご意見はあるか。

宮本委員             ない。

伊藤委員長           保健体育にかかわって、よろしいか。  
                          大日本図書も幾つか出たが、学研がよろしいのではないかという  
                          ふうに受け取らせていただいたが、保健体育の教科書は学研でよろ  
                          しいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、保健体育の教科書は、学研教育みらいというのが正式  
                          の名前のものであるので、保健体育は学研教育みらいに決定する。  
                          次に、技術・家庭（技術分野）の説明をお願いします。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長             それでは、技術を説明する。  
                          東京書籍は、教材や資料が適切でわかりやすく、見やすく表記さ  
                          れている。単元の構成、配列、バランスは適切である。最新情報が  
                          図や挿絵、写真に使われていて、わかりやすい工夫が見られる。技  
                          術の習得が学習の重点になっている。生物育成の内容が充実してい  
                          る。強調する文字の大きさが見やすく、表記、表現が適切である。  
                          教育図書は、教材は適切で正確であり、見やすく表記されている。  
                          最新技術についての記述があり、工夫が見られる。単元の構成、配  
                          列、バランスは適切である。最新情報の図や挿絵、写真も使われて  
                          いて、わかりやすい工夫が見られる。また、色遣いが目に優しく、  
                          疲れにくいように配慮されている。実践してみたいと思わせる教材  
                          例が多くある。

                          開隆堂は、教材は適正で正確であり、さまざまな創意工夫がなさ  
                          れている。実習例は、多様な例を取り上げて、生徒の実態に応じて  
                          いる。単元の構成、配列、バランスは適切である。情報に関する技  
                          術において、情報モラルと情報セキュリティーに分けて、丁寧に記  
                          述されている。記号、図、挿絵、写真など、わかりやすいものが多  
                          く使われて見やすくなっている。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、どうぞ、質問をお願いします。

高木委員

基礎的、基本的な知識の習得について、各教科書の特徴はいかにか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

基礎的、基本的な知識の習得に関して、どの教科書も、学習のまとめとして確認問題を掲載したり、小学校と中学校の学習の関連項目を整理したりするようなところは、各教科書で配慮されている。

その中で、教育図書、開隆堂は、視覚的にも、教科書の内容や既習事項、今まで習ってきたような事項に関して、関連づける工夫が見られる。

以上である。

高木委員

もう一つ。学習指導要領では、ものづくりを支える能力などを一層高めるといふようなことを示されているけれども、このような実践的な事項を扱うに当たって、選定調査委員会で目を引いたものはあるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

ものづくりを支える能力を一層高めるといふ部分では、東京書籍と開隆堂には、取扱説明書のように実施の手順を、写真とか図などを用いて、例えばコンピューターの基本操作を用いたりしてわかりやすくしていたり、コンピューターの基本操作の巻末資料として、そういうものを掲載している例がある。

それから、ものづくりについてわかりやすく説明されている工夫が、東京書籍、開隆堂には見られた。

伊藤委員長

ほかにはないか。

宮本委員

技術の習得ということについてはいかにか。

吉田教科書  
選定調査

技術の習得に関しても、特に重点的に扱われていたのが、教育図書と開隆堂に関しては、技術の習得が学習の重点に置かれていて、

- 副委員長 教材や資料なども正確であって、わかりやすく表記されていたというのが印象としてある。
- 伊藤委員長 ほかはどうか。よろしいか。  
それでは、これより協議に入る。どうぞ、ご意見を願います。
- 高木委員 実習例に工程表を掲載して、製作の流れを、生徒に見通しがつきやすいように示しているという点では、東京書籍がいいと思う。
- 伊藤委員長 時間配分、時間系列に沿って工程表があるということか。
- 高木委員 時間というか、工程、順番である。
- 伊藤委員長 なるほど。
- 宮本委員 ご説明の中にも開隆堂というのは出てきたようであるが、開隆堂には実習例が多数取り上げられていて、生徒がわかりやすい工夫がしてあるのではないかと思った。
- 伊藤委員長 ほかはいかがか。
- 鮎川委員長 開隆堂は、情報に関する技術を扱っているページ数も、3社の中で一番多く、情報に関する技術において、情報モラルと情報セキュリティに分けて、とても丁寧に説明されていると思う。  
また、巻末資料では、コンピューターの基本操作など、大変生徒にわかりやすく、使っていて便利だろうと思われることもたくさん掲載されているので、よいと思う。
- 伊藤委員長 ほかはいかがか。
- 高木委員 先ほど来、理科その他、環境とのかかわりということで出てくるが、学習指導要領では、技術の分野でも、技術と社会や環境とのかかわり合いについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるという目標があるけれども、この点については、開隆堂が、材料と加工に関する技術、あるいはエネルギー変換に関する

る技術、生物育成に関する技術、情報に関する技術、それぞれ各ま  
とまりごとに、環境や社会とのかかわりを非常にわかりやすくまと  
めていると思う。

そういう点で、開隆堂がいいと思う。

伊藤委員長

ほかにはいかがか。

今日的な課題である情報教育や環境教育にかかわって、より充実  
しているのではないかという受け取り方をさせていただいてよろ  
しいか。

ほかにご意見はあるか。

それでは、技術の教科書は開隆堂というお声が多いように拝察し  
たが、技術の教科書は開隆堂でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、技術・家庭（技術分野）の教科書は開隆堂と決定する。  
次、技術・家庭（家庭分野）について、願います。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

引き続き、私のほうから家庭を説明する。

東京書籍は、ほかの2社は家族、家庭と子供の成長から始まる構  
成をとっているけれども、食生活と自立から始まっているのが特徴  
的である。ガイダンスの導入部分がわかりやすく工夫されている。  
単元の最後に学習のまとめがあり、ワーク形式で記入しやすくなっ  
ている。安全指導面の配慮がなされている。また、イラストや写真  
などがバランスよく配置されて、読みやすくなっている。

教育図書は、実生活に即した資料が多く、興味、関心を引き出す  
工夫が見られる。どの領域も情報量は多いのだが、見やすく、必要  
なものを選びやすい配慮が見られる。資料がわかりやすく組み合わ  
されていて、活用しやすい工夫が見られる。考えさせることのでき  
る資料が多くあるのが特徴である。イラストを多く使用し、親しみ  
やすく工夫されている。

開隆堂は、ものづくり、学習などで環境問題を考える内容が豊富  
になっている。視覚的に見やすく、活用できる資料が多く用いられ  
ている。食料領域では、解説がわかりやすく、充実している。イラ  
ストや写真が多く、用具の使い方や作業の手順がわかりやすく工夫

されている点もある。また、詳しい資料で、生活への興味、関心を深めて学習しやすくなっていることも特徴である。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、どうぞ、質問をよろしく願います。

高木委員

学習指導要領では、衣食住に関する実践的、体験的な学習活動の充実ということが示されているが、この点は各教科書、いかがか。

吉田教科書  
選定調査

各教科書では、同じように製作の部分、物をつくっていくこと、それから、調理などの実習や幼児の観察に関する事柄や調査、実験などに

副委員長

関しては、同じように扱っている。

その中で、教育図書、開隆堂は、実践的、体験的な事項の箇所に関してはより多く取り扱っている。そういう部分が取り扱いの部分である。

伊藤委員長

ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者

学習指導要領では言語活動の充実が示されている。家庭科の教科書ではどのような特徴が見られるか。

吉田教科書  
選定調査  
副委員長

これは3社とも同じであるが、教科書では、家族とのかかわり合いとか食生活などのところで、例えば話し合ったり、インタビューをしたり、書いたりという活動をできるような部分が設けられている。

それから、言語活動に関して、そういう形で言語活動を取り上げているけれども、例えば具体的に、開隆堂などは、そのような言語活動の事項については、ほかよりは多く取り上げていることがある。

鮎川委員長  
職務代理者

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにご質問はあるか。宮本委員、よろしいか。

宮本委員           はい。

伊藤委員長        それでは、質問がないようなので協議に入る。ご意見、お願い申し上げます。

鮎川委員長  
職務代理者        教育図書と開隆堂は、実生活に即した資料が多いと思う。生徒の興味や関心を引き出すことができるので、よいと思う。

伊藤委員長        ほかにあるか。

高木委員           開隆堂だが、用具の使い方、作業手順がわかりやすいということ、あるいはイラストや写真が多いということで、それがわかりやすいことにつながっていると思うが、開隆堂がいいのではないかと思う。

伊藤委員長        わかりやすく示されているということか。  
ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者        あと、開隆堂は、調理実習例で、でき上がり写真がとても大きく示されている。食品の切り方とか盛りつけについてわかりやすく示されているので、この点もよいなと思った。

伊藤委員長        ほかにはいかがか。

宮本委員           教科書の入り方の部分であるが、教育図書と開隆堂は、A領域の家族・家庭と子供の成長というところから学習が始まっているわけである。東京書籍は、ご説明にあったように、B領域の食生活と自立というところから入っているというのが特徴だということだそうだけれども、やはりA領域の家族・家庭と子供の成長というところから入るのが、指導要領に沿っていて、いいのではないかと感じた。

伊藤委員長        ほかにはないか。  
教育図書というのは、今回、初めて家庭科に参入した教科書で、大変特徴的な教科書なのかなと私、見させていただいた。開隆堂、

東書というのは今までも見なれていたのだが、大変資料が多くて、たくさん考える材料を与えてくれる教科書かなと思ったが、やや多過ぎて、子供に、考えるよりも先に答えを与えてしまっているのかなというような思いもさせていただいた。

反対に、その資料をもっと突っ込んで考えるということもできる反面、やや参考書的な感覚があるのかなというふうには受け取らせていただいた。

ほかにご意見はあるか。よろしいか。

家庭科では、開隆堂というご意見だというふうに承らせていただいたが、家庭科の教科書は開隆堂出版でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、技術・家庭（家庭分野）では開隆堂と決定する。  
それでは、外国語、英語について説明をお願いします。

神田教科書選           英語は私から説明する。全部で6社ある。  
定調査委員長       まず、東京書籍は、学ぶべき基本文がページの下3分の1にわかりやすくまとめられていて、生徒が学習しやすくなっている。紙面構成がわかりやすく、見やすくなっている。イラストや色彩、写真がうまく使われている。新出単語にはチェックボックスがつけられて、生徒が確認しやすくなっている。巻末に応用編として、会話表現、活用表、基本文のまとめが用意されている。

次に、開隆堂は、文法が左ページ、本文が右ページという構成になっていることと、教科書の大きさが他社と比べて大きいことが特徴である。簡単なスピーチをすることという項目が設けられている。新出単語にはチェックボックスがつけられていて、生徒が確認しやすくなっている。巻末の付録は豊富に用意されており、特にアクションカードは、言語活動に有効であると考えている。

次に、学校図書は、1年生の動詞を、b e 動詞ではなく一般動詞から学習するという、ほかの5社にはない特徴を持っている。学ぶべき基本文はページ下にまとめられており、すぐ横に日本語で説明が載せられている。絵や写真が多く盛り込まれている。扱う題材は多岐にわたっており、例えば、立体インクを使用して点字を体感させるという、障害の理解にも配慮している。

次に、三省堂は、学ぶべき基本文がページの下3分の1にまとめられていて、学習しやすくなっている。新出単語はページ横にまとめられている。リスニングから導入し、スピーキングで基礎、基本の定着を図るという流れはスムーズであるとする。3年生での読み物の内容は深いものとなっている。辞書指導、文法指導、語彙指導などの参照ページが充実している。

次に、教育出版は、基本文が、詳しい文法の説明とともに、ページの下3分の1にわかりやすくまとめられている。学習内容は、全体から細部へ、簡単なものから難しいものへとうまく配列されている。紙面構成はわかりやすくなっている。絵や写真が多く掲載されている。辞書指導、文法指導などの参照ページが充実している。

最後に、光村図書は、基本文がページ下にまとめられており、日本語ですぐ横に説明がついている。学習内容は全体から細部へ、簡単なものから難しいものへとうまく配列されている。1年生の導入での自己紹介で、be動詞と一般動詞が混在するが、基本的には、be動詞を先に学ぶという構成になっている。色の使用は、淡い色合いで派手さがなく、イラスト、写真とも落ちついた印象を与える。以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それではどうぞ、ご質問をお願いします。

宮本委員

新学習指導要領では、聞く、話す、読む、書くを総合的に行う学習活動の充実が示されているけれども、教科書の扱いについてはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長

英語の聞く、話す、読む、書くという4つの活動であるが、これを充実させるということが大事であるが、2つ以上の活動を統合して行うような工夫がされている教科書がある。学校図書、三省堂、光村などは、そうした2つ以上を統合するという工夫を多く取り入れていた。

伊藤委員長

ほかにはいかがか。

高木委員

学習指導要領で、多様なものの見方や考え方を理解するというふ

うにあるけれども、この点について、教科書の扱いはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長 多様なものの見方、考え方であるが、学習指導要領にそれが求められているので、教科書でもそのように扱っている。東京書籍、三省堂は、現代的な課題とか文化、生活などに多様なものの見方ができるような教材を多く扱っていて、英語の学習を通じて、そうした力が身につけられるようになっていた。

伊藤委員長 ほかはいかがか。

鮎川委員長  
職務代理者 今、世の中でも、国際化と言われて随分久しいが、学習指導要領では、外国語を通じて言語や文化に対する理解を深めるとあるが、教科書の工夫についてはいかがか。

神田教科書選  
定調査委員長 言語や文化に対する理解であるが、これについても、各教科書でそれぞれ工夫していた。外国や我が国の文化、生活、多様なものの見方や考え方及び現代の課題というものについて理解するために、例えば地雷の問題、環境問題、外国の文化などについて取り上げている教科書もあった。

東京書籍と三省堂は、それらについて多く扱っていて、公正な判断力を養ったり、豊かな心情をはぐくむというところに意を尽くしているかなと思う。

鮎川委員長  
職務代理者 ありがとう。

伊藤委員長 ほかにご質問はあるか。よろしいか。  
それでは協議に入る。ご意見を願います。

鮎川委員長  
職務代理者 先ほど神田委員長の説明の中にもあったが、学校図書は、1年生の動詞の学習で、まず一般動詞から学習を始めている。ほかの5社では、b e 動詞から一般動詞という順番で学習をしている。

とても大きな違いではあるが、どちらがいいのかという点については、判断がつかかねている。

伊藤委員長 自己紹介からか、何が好きかとか、アイ・ラブ・ユーとかそういう、いわゆる一般動詞から入っていくかということか。

私たちが習ったときは、ほとんどb e動詞からだったが、ここのところ地域の活動というか、英語学習、スクールのなところでは比較的、一般動詞から入っているところもたくさん活用できるというところでは多いようである。どちらでもいいのだろうけれども。ほかにあるか。

宮本委員 今回の資料の報告などを拝見すると、東京書籍と三省堂は、聞く、話す、読む、書く活動がバランスよく配分されていると感じた。また、東京書籍のほうは、学習ごとに目標が重点化され、繰り返し復習ができる構成になっているので、いいのではないか。

伊藤委員長 わかった。ほかにあるか。

高木委員 三省堂と学校図書であるが、写真、地図、グラフ、そういうものが充実していて、生徒の関心や意欲を引き出しやすいものになっていると思う。

伊藤委員長 三省堂と学図か。  
ほかにあるか。

鮎川委員長 私も、三省堂は各レッスンの基本文がページの下にまとまっていて、生徒にとって学習しやすい工夫がされていて、よいと思う。

職務代理者

私が海外に住んでいたときに、外国語の学習というのを拝見した。基本の文を繰り返し学習して、基本の文を中心に習う方法もよくとられていたので、そういう点でも、生徒にとって学習しやすいと思う、三省堂がよいと思う。

伊藤委員長 ほかにご意見はあるか。よろしいか。

委員長さんのお話の中でも、統合的に扱っているもの、多様な見方、言語、文化にかかわるときにも、すべて三省堂が入っているし、先生方のご意見でも、三省堂というご意見が多かったように思うので、英語の教科書は三省堂でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、外国語、英語の教科書は三省堂と決定する。

それでは、平成24年度小金井市立中学校使用教科用図書については、国語、光村図書、国語書写、東京書籍、社会（地理的分野）、帝国書院、社会（歴史的分野）、帝国書院、社会（公民的分野）、清水書院、社会地図、帝国書院、数学、東京書籍、理科、啓林館出版、音楽（一般）、教育芸術社、音楽（器楽）、教育芸術社、美術、光村図書、保健体育、学研教育みらい、技術・家庭（技術分野）、開隆堂、技術・家庭（家庭分野）、開隆堂、外国語英語、三省堂とする。

以上で、平成24年度中学校使用教科用図書の選定を終了する。

委員長、副委員長、ほんとうにご苦労さまであった。どうもありがとうございます。お疲れさまであった。

次に、日程第3、議案第21号、平成24年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択についてを議題とする。

提案理由につきご説明願う。

向井教育長

それでは、提案理由についてご説明する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号の規定に基づき、平成24年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択をする必要があるため、本案を提出するものである。

細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご採択賜るようお願い申し上げます。

豊岡指導室長

市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書は、繰り返しになるが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に基づき、小金井市教育委員会が毎年採択をすることとなっている。特別支援学級においては、また、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済み教科用図書または文部科学省著作教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができるとしている。

各学級においては、校長を委員長として調査研究委員会で、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性にふさわしい内容であるかを調査研究し、このたび案として提出させていただいたところで

ある。採択のほど、よろしく願います。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

事務局の説明が終わったが、何かご質問はあるか。

鮎川委員長  
職務代理者

先ほどの中学校の教科書の採択と違い、原案として提出された教科書について協議をすればよろしいということか。

神田指導  
室長補佐

ご指摘のとおりである。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにはあるか。

鮎川委員長  
職務代理者

では、現在使用している教科書と変更した教科があったら、教えていただきたい。

神田指導  
室長補佐

第一小学校では、現在使用している教科書と変更した教科はない。  
第二小学校では、家庭科の6年の教科書を、通常の学級で使用する教科書に変更した。

東小学校では、書写の1年と6年の教科書を、通常の学級で使用する教科書に変更した。また、2年から5年の教科書については、一般の図書のほうで変更した。また、社会、理科、家庭の教科書のかわりに、知的障害の特別支援学校小学部の教科である「生活」をとることができるため、3年生から6年生で、星印がついている生活に示したように、教科書を変更した。そのため、社会と理科と家庭の教科書がない。

最後に、第二中学校では、現在、使用している教科書と変更した教科書はない。

以上である。

伊藤委員長

ほかにあるか。

宮本委員

今のご説明で、第二小学校、東小学校ともに変更した理由という

のは、どうしてなのか。

それから、東小学校の2年生の書写の中に、3冊使用するというような形で書いてあるように思うが、どんなぐあいなのか。

神田指導  
室長補佐

特別支援学級では、児童の実態に応じて教科書を使用するという  
ことである。そのため、第二小学校、東小学校の児童の障害など、  
児童の状況に応じて調査研究をしていただいて、その結果の変更で  
ある。

また、東小学校の2年生の書写については、個々の児童の実態に  
応じて使用できるようにするため、3冊が示されているが、1人の  
児童に対しては1冊の教科書を使用することになる。

伊藤委員長

ほかにないか。

高木委員

同じ小学校でも、第一小学校、第二小学校、東小学校で違いがあ  
るけれども、これも児童の障害の実態に合わせたということによろ  
しいか。

神田指導  
室長補佐

ご指摘のとおりである。同じ学年であっても、障害など児童の状  
況に応じて教科書を選択している。

伊藤委員長

よろしいか。

質問していいか。第一小学校、第二小学校では、東小学校のよう  
に同学年で違う教科書を使用する、必要な児童はいないというこ  
か。

神田指導  
室長補佐

ご指摘のとおりである。実態に応じて、各学校で調査研究をした  
結果、ほかのものを使うということは必要ないと判断しているとい  
うことである。

伊藤委員長

わかった。個に応じてそれぞれご配慮いただいていること、大変  
ありがたいと思う。

私は、毎年、学年に応じて、学年の名前の入った教科書を特別支  
援学級の子供にも渡して、進級の喜びを味わってもらいたいとつく  
づく思っている。そういう意味で、実際に先生方が工夫して、手づ

くりや、子供たちが手にとって学習する教材と教科書の考え方についても、私ども教育委員も深く考えていく必要があるかなと思って  
いる。感想と意見である。

以上で、質問はもういいか。

それでは、お諮りする。

平成24年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択については、原案どおり可決することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

異議なしと認める。本案は原案どおり可決することと決定した。

次に、日程第4、議案第22号、小金井市図書館協議会条例の一部を改正する条例の制定依頼についてを議題とする。

提案理由について、ご説明をお願いします。

向井教育長

それでは、提案理由についてご説明する。

小金井市図書館協議会委員の構成を市民参加の観点から見直し、図書館運営をさらに充実したものにするため、本案を提出するものである。

細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

天野生涯  
学習部長

それでは、細部についてご説明する。

現行、図書館協議会の委員構成については、市内に設置された学校が推薦した学校の代表者1人、市内の社会教育関係団体が推薦した団体の代表者1人、社会教育委員1人、学識経験者4人、公募市民3人の合計10人である。

その委員構成において、市民参加の観点から見直すべきではないかとのご意見を踏まえ、平成22年5月より図書館協議会において審議を行っていただき、学識経験者4人について1人減とし、新たに、家庭教育の向上に資する活動を行う者1人を追加する内容の一部改正条例となっている。

それでは、小金井市図書館協議会条例の一部を改正する条例新旧対照表をごらんいただきたい。右側で、現行条例の(組織)第3条第1項第4号の学識経験者4人以内を、改正条例では、第5号で3

人以内とし、4号において、家庭教育の向上に資する活動を行う者1人以内と加えた。そして、第2項の文言の整理をした。

なお、家庭教育の向上に資する活動を行う者についての具体的な選出については、小金井市小中学校PTA連合会等に対し、候補者の推薦を依頼することを検討している。

続いて、一部改正における検討経過である。

初めに、公募市民についてであるが、現行3人で、市民参加条例における比率30%以上の基準については、一定確保していることを確認した上で、さらに検討を続けた。現行、図書館法第15条は、図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命するとされていることから、今回、家庭教育の向上に資する活動を行う者として、新たに追加することで検討した。

図書館協議会では、平成22年5月開催の第1回、10月開催の第2回、平成23年3月の第3回及び平成23年7月開催の第2回で、最終的に確認の上、提案するものである。図書館協議会での審議では、市民参加の観点からも了承していただいた。

以上で説明を終わらせていただく。

伊藤委員長

ありがとう。

質問、ご意見等はあるか。よろしいか。

それでは、質疑を終了する。

お諮りする。

議案第22号、小金井市図書館協議会条例の一部を改正する条例の制定依頼については、原案のとおり可決することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

異議なしと認める。本案は原案どおり可決することと決定した。

ここで、会議の途中であるが、ただいま4時53分になろうとしているが、教育委員会の会議規則では、会議時間は午後5時までとなっている。

今までの会議の進行状況から、時間を延長することについて、ご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長        それでは、異議なしと認め、時間延長とする。会議の内容を終了するまで続行させていただく。

                         それでは続ける。

                         日程第5、報告事項を議題とする。

                         人事担当から説明をお願いする。

宮腰スポーツ        報告事項1、スポーツ祭東京2013小金井市実行委員会設立総  
振興担当課長        会及び第1回総会の実施報告について、報告させていただく。

                         スポーツ祭東京2013について、今日は口頭で報告させていただく。前回の教育委員会において、スポーツ祭東京2013、いわゆる東京国体への取り組みについて、発起人会を設立したところまで報告させていただいた。

                         その後、去る7月27日水曜日、スポーツ祭東京2013小金井市実行委員会設立総会を実施し、実行委員会を立ち上げた。そして、同じ日に第1回の総会を行った。

                         設立総会では、スポーツ祭東京2013小金井市実行委員会を設立することと実行委員会の会則、それに実行委員会委員及び役員等の選任についてご承認いただいた。

                         また、その後の第1回総会では、スポーツ祭東京2013小金井市開催方針、続いて、実行委員会平成23年度事業計画、小金井市実行委員会常任委員会への委任事項の3点についてご承認いただいた。

                         今後は、常任委員会を設置し、より具体的な準備に入っていく予定である。今後とも国体成功に向けてご協力を賜るよう、よろしく願います。

                         以上である。

伊藤委員長        ご苦労さまである。ありがとう。

                         それでは、報告事項2、その他に移るが、学校教育部から何かあるか。

尾上学校            特にない。

教育部長

伊藤委員長            それでは、生涯学習部。

天野生涯  
学習部長                特にない。

伊藤委員長            では、今後の日程をお願いします。

河田庶務  
課長補佐                教育委員会の今後の日程について、ご報告する。  
第9回教育委員会が8月23日火曜日、午後1時30分から801会議室で開かれる。全委員の出席をお願いします。東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会及び第1回理事研修会が8月25日木曜日、東京自治会館大会議室で開催される。委員長の出席をお願いします。第10回教育委員会が10月11日火曜日、午後1時30分から801会議室で開かれる。全委員の出席をお願いします。第11回教育委員会が11月8日火曜日、午後1時30分から801会議室で開かれる。全委員の出席をお願いします。小金井市立第三小学校開校60周年記念式典が10月14日金曜日、午後2時から第三小学校体育館でとり行われる。全委員の出席をお願いします。小金井市立第四小学校開校60周年記念式典が10月28日金曜日、午後2時から第四小学校体育館でとり行われる。全委員の出席をお願いします。第12回教育委員会が11月22日火曜日、午後1時30分から801会議室で開かれる。全委員の出席をお願いします。  
以上である。

伊藤委員長            ありがとう。よろしいか。  
これから、日程第6から日程第9までを順次議題とするところだが、審議の効率化を図るため日程を変更し、日程第7、代処第34号、職員の人事異動に関する代理処理を先議することといたしたいと思う。これにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長            ご異議なしと認め、よって、日程第7、代処第34号、職員の人

事異動に関する代理処理を先議することと決定する。

それでは、日程第7、代処第34号、職員の人事異動に関する代理処理を議題とする。

提案理由につき、願います。

向井教育長

提案理由についてご説明する。

職員の人事異動を行う必要が生じたが、教育委員会の議決すべき事項で、教育委員会を開催する時間がないので、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定に基づく代理処理をしたことについて、同上第2項の規定により、そのご承認を求めるものである。

細部については庶務課長から説明するので、よろしくご審議の上、ご承認賜るようお願い申し上げます。

鈴木庶務課長

それでは、代処第34号、職員の人事異動に関する代理処理について、ご説明する。

本件については、急を要することから、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定に基づく代理処理を行ったものである。

内容は、学校教育部庶務課長補佐兼庶務係長、梶野ひづるを平成22年7月31日付けで解任し、市長部局へ出向させることとした。新所属は福祉保健部地域福祉課長である。

後任として、市民部納税課納税係長、河田京子を平成23年8月1日付けで学校教育部庶務課長補佐兼庶務係長に任命した。

次に、教育委員会公民館主査、野村明夫を平成23年7月31日付けで解任し、市長部局へ出向させることとした。新所属は市民部保険年金課主査である。

次に、教育委員会公民館副主査、樋口大樹を平成23年8月1日付けで教育委員会公民館庶務係主任に配置がえをした。

次に、子ども家庭部子育て支援課副主査、戸木信雄を平成23年8月1日付けで教育委員会公民館副主査に任命した。

次に、学校教育部指導室指導係主任、井上英里を平成23年8月1日付けで解任し、選挙管理委員会に出向させることとした。

次に、学校教育部指導室、伊藤優を平成22年7月31日付けで解任し、市長部局へ出向させることとした。新所属は市民部納税課

となる。

次に、議会事務局、西牧真衣を平成23年8月1日付けで学校教育  
部指導室主事に任命した。

次に、総務部管財課、佐藤翔を平成23年8月1日付けで学校教  
育部指導室主事に任命した。

以上で、平成23年8月1日付け人事異動の説明について終了す  
る。よろしくご審議の上、ご承認賜るようお願い申し上げます。

伊藤委員長

ありがとう。

ご質問、ご意見はあるか。いいか。

つまらないことを聞いてもいいか。転任と出向とはどう違うのか。  
ごめんなさい、なぜ分かれているのだろうなど。出向って、また戻  
っておいでになるということか。

鈴木庶務課長

市長部局から教育委員会への出向を受けて、転任で教育委員会の  
内部で配置するというふうにご理解いただければと思う。

伊藤委員長

何か出向って、また戻っておいでになるのかなというような趣で  
受け取らせていただいたので、そういう言葉であるか。

鈴木庶務課長

そういうわけではない。

伊藤委員長

自分のところからどこかに行くことも出向で、よそから来られた  
方を配置することが転任ということか。そう受け取らせてもらって  
いいか。すまない。ありがとう。

それでは、質疑を終わり、お諮りする。

日程第7、代処第34号、職員の人事異動に関する代理処理につ  
いては、承認することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

次に、日程第6、日程第8及び日程第9を順次議題とするところ  
だが、いずれも人事に関する議案である。委員長は、この3件は小  
金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当  
するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、ご異議

はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 異議なしと認め、秘密会とする。  
では、すぐに続けて行う。よろしいか。  
秘密会を開催するため、暫時休憩する。

休憩 午後5時03分

再開 午後5時12分

伊藤委員長 それでは再開する。本日の日程はすべて終了した。これをもって、  
平成23年第8回小金井市教育委員会定例会を終了する。

閉会 午後5時12分